

「新観光振興計画」 京都市観光振興審議会 資料





1 「未来・京都観光振興計画2010+5」の整理

1-1 「未来・京都観光振興計画2010+5」の総括および実績 …03

1-2 「未来・京都観光振興計画2010+5」の成果 …31

2 観光を巡る環境の変化

2-1 国内旅行市場と京都市の状況 …39

…47

2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況

3 今後の方向性について

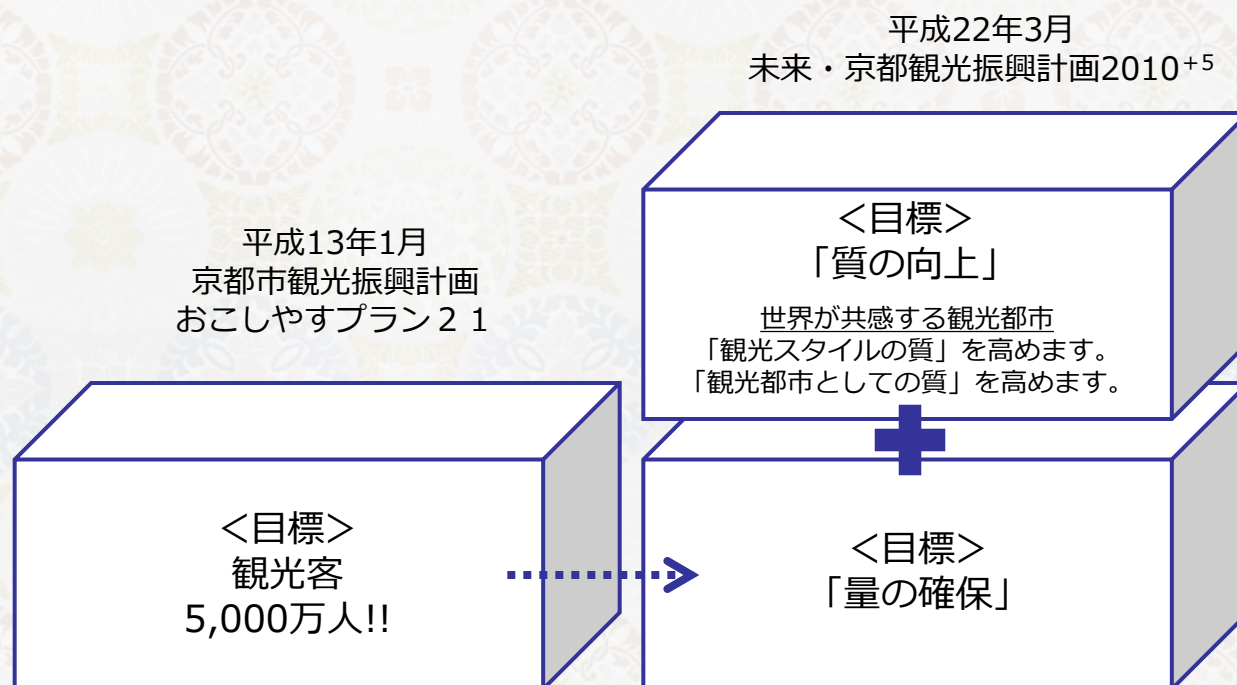
2020年東京オリンピック・パラリンピック等を見据えて …55

1 「未来・京都観光振興計画2010⁺5」の整理

1-1 「未来・京都観光振興計画2010⁺5」の総括及び実績



- **H13の「京都市観光振興計画」**では、「観光客5,000万人」を目標として設定し、予定より2年早く達成。
- **H22の「未来・京都観光振興計画2010⁺⁵」**では、「量の確保」とあわせて「質の向上」を図ることを目標として設定。





概況と京都市の観光振興計画

平成13年	「京都市観光振興計画」策定
平成17年	日本の総人口初の減少（1億2776万人）
平成20年	リーマンショック（米国リーマンブラザーズ経営破たん）
平成22年	<u>「未来・京都観光振興計画2010⁺」策定</u>
平成23年	東日本大震災と福島原発事故発生
平成24年	竹島，尖閣諸島の領有権問題が顕在化 低コスト航空会社(LCC)就航
平成25年	東京オリンピック・パラリンピック等開催決定



平成26年 新観光振興計画を策定



「5,000万人観光都市」から「5,000万人感動都市」へ

未来・京都観光振興計画2010+5 (計画期間：平成22年～平成26年)

“いよいよ旅の本質へ”

「質の向上を目指す!!」
「量を確保する」

→
-観光スタイルの質の向上
-観光都市としての質の向上

「7つのプロジェクト」と主な「重点事業」

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 「暮らすように旅する」プロジェクト【重点】 | 5. 「観光客の不満をゼロに」プロジェクト |
| 2. 「歩いてこそ京都」プロジェクト【重点】 | 6. 「新たな京都ファン獲得」プロジェクト |
| 3. 「市民の京都再発見」プロジェクト【重点】 | 7. 「京都の魅力をうまく伝える」プロジェクト |
| 4. 「心で“みる”京都」プロジェクト【重点】 | |

116の事業を実施

1-1 「未来・京都観光振興計画2010+5」の総括 「未来・京都観光振興計画2010+5」の整理



未来・京都観光振興計画2010+5 (計画期間：平成22年～平成26年)

「7つのプロジェクト」と「主な実施施策」

116の事業は全て達成・推進中

- ・「観光立国・日本 京都拠点」共同プロジェクトの実施
- ・「ILTMの誘致」
- ・「ムスリム(イスラーム教徒)の誘致・受入れ」
- ・「京都市MICE戦略の策定, 推進」
- ・「多様なニーズに対応する宿泊施設の充実」
- ・「多言語通訳の体制整備」
- ・「無料公衆無線LAN整備」
- ・「観光案内標識アップグレード」
- ・「ユニバーサルツーリズムの推進」
- ・「安心安全な京都観光」
- ・「京都マラソン」の開催
- ・「京あるき in 東京」の開催
- ・「京の食文化」を楽しむ観光の推進・発信
- ・「京の食文化」の魅力発信
- ・「新景観政策」の推進
- ・「世界の京都・まちの美化市民総行動」の実施
- ・「無形文化遺産制度」
- ・「コンテンツと産業・観光」
- ・「新たな魅力の創出」
- ・「モビリティ・マネジメント施策の実施」
- ・「京都へのアクセス向上」
- ・「リニア中央新幹線の京都誘致」



日本文化の拠点であり、我が国を代表する国際観光都市として、観光庁との連携強化により、観光立国・日本の牽引役を推進。

観光庁共同プロジェクト

(平成23年1月に覚書調印)

平成23年1月13日に、観光庁・京都市共同プロジェクト「観光立国・日本 京都拠点」実施の覚書に調印。

(共同プロジェクトの内容)

- 1 外国人観光客受入環境の充実
 - 2 ラグジュアリー層を中心とした外国人観光客の誘致
 - 3 外国人観光客動向の調査
 - 4 休暇取得・分散化の促進
 - 5 多言語コールセンター設置
 - 6 I L T M誘致
- 等



世界で最もブランド力ある商談会を京都で開催し、「京都」のブランド力の向上を推進。

開催までの経緯

- 平成22年6月 Reed社へのトップセールスを実施
- 平成23年1月 Reed社のILTM Asia責任者を京都に招請
- 平成23年6月 ILTM Asia初の公式プレトリップを京都で開催
- 平成24年6月 京都を含む5都市において I L T M Asia公式プレトリップを開催
- 平成25年3月 ILTM Japanを京都で開催**

ILTMとは？

ラグジュアリー層向け旅行市場に関するバイヤー（ラグジュアリー層を顧客とする旅行エージェント）とサプライヤー（高級ホテル、DMC等）の旅行の商談会

カンヌで毎年12月に開催されている。

2007年からはアジア版として「ILTM Asia」（上海），
2012年10月からは「ILTM Americas」（メキシコ・マヤコボ），
2013年4月には「ILTM Africa」（南アフリカ・ケープタウン）が
開催されている。



ムスリム（イスラーム教徒）観光客誘致のための取組みを開始。

平成25年度の主な取組み

1. 市場の調査研究

ムスリム市場の傾向や京都のイメージ、固有の習慣等の調査研究を実施

2. ホームページ等による情報の発信

ムスリム観光客向けホームページを作成。4 箇国語（英語、アラビア語、トルコ語、マレーシア語）

3. 勉強会及びフィールドワークの開催

市内事業者（飲食店、宿泊施設、寺院等）を対象とする勉強会や、ムスリム対策の進んでいる飲食店への訪問などのフィールドワークを実施。

4. ムスリムへのお土産に対する取組み

京都の伝統産業品等の活用について、市内事業者や空港・航空会社との協働で開発・販売を目指す。

「ハラール」とは？

「合法」を意味し、イスラム教の戒律において定められた生活全般にわたる定めを守っている状態。食品の制限のほか、礼拝（1日3～5回）を行うことなども含まれる。



ムスリム観光客受入れに当たっては、

① ハラール食の提供

② 礼拝場所の確保

及びこれらに関する情報提供が求められる。



自治体初のMICE戦略を策定し，確実に推進。

「グローバルMICE戦略都市」に選定

我が国のMICE誘致競争力強化を目的に，国（観光庁）によりMICE誘致の潜在能力が高い都市，集中的に支援する「グローバルMICE戦略都市」に選定され，マーケティング戦略を策定すると共に，共同プロモーションを実施。

国立京都国際会館の拡充

国により新ホール（約2,500人収容）の設置が決定。
（引き続き5,000人規模の会議に対応出来る施設を要望。）



国立京都国際会館

世界遺産・二条城MICEプランの開始

世界遺産・二条城を舞台に，観光MICEの振興と文化財保護・活用の融合させた京都ならではの「おもてなし」を創出。

MICE誘致のための体制強化

平成24年4月市の「観光部」を「観光MICE推進室」に改組。
組織名に自治体初となるMICEを盛り込み，市の重点課題であることを明確化。
MICE及びインバウンド推進の実行部隊である京都文化交流コンベンションビューロー（KCB）に民間から優秀な人材を登用するなどして体制を強化



ホテルの誘致，旅館の魅力向上を推進。

世界的な知名度の高いホテルの誘致

ザ・リッツ・カールトン（平成26年2月開業）及びフォーシーズンズホテル（平成27年開業予定）の誘致に成功



ザ・リッツ・カールトン



京都市が設置・運営委託する宇多野ユースホステルの魅力向上

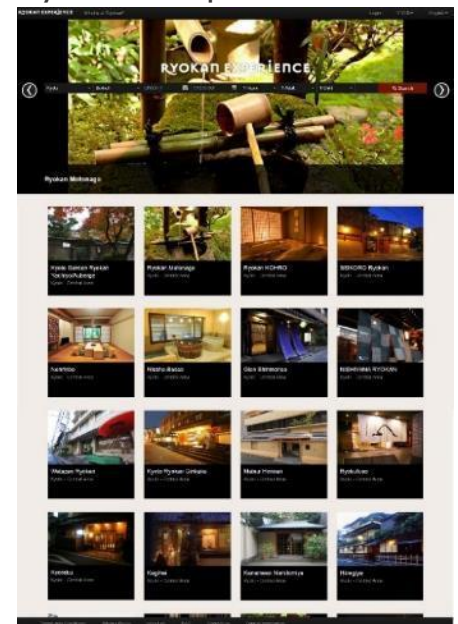
「世界で最も居心地のよいユースホステル」に2年連続受賞（2011, 2012年）



日本旅館の魅力向上

日本旅館のB2C予約サイトによる情報発信およびオンライン予約のインフラ構築

ryokan-experience.com





外国人旅行者等が抱える言語対応の不安を解消する体制を整備。

24時間多言語コールセンター

京都を訪れる外国人観光客が抱える大きな不安のひとつとして、言語対応の不足が挙げられる。



外国人観光客の京都滞在における満足度向上を図るため、京都文化交流コンベンションビューローと連携し、外国人旅行者向け多言語コールセンターを設置

(24時間体制, 3ヶ国語 (英・中・韓))



※歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」は、別掲 (P.28)

119番通報等の多言語通訳体制

京都を訪れる外国人観光客や留学生などの緊急時のコミュニケーションを助け、災害対応を円滑に行うため、電話通訳体制を整備

(24時間体制, 5ヶ国語 (英・中・韓・スペイン・ポルトガル))





誰もが無料で利用できる全国一の自治体無線LANを整備（実施中）。

全国最大規模の市内630カ所に設置

現状

外国人旅行者が旅行中に困ったこと第1位（観光庁調査）

- ・「無料公衆無線LAN環境が整っていないこと」
- ・通信料金が高額
- ・日本で普及している無料無線LANは特定会社の携帯電話利用者等に利用が限定されている



KDDI(株)と(株)インフィニティとの官民共同

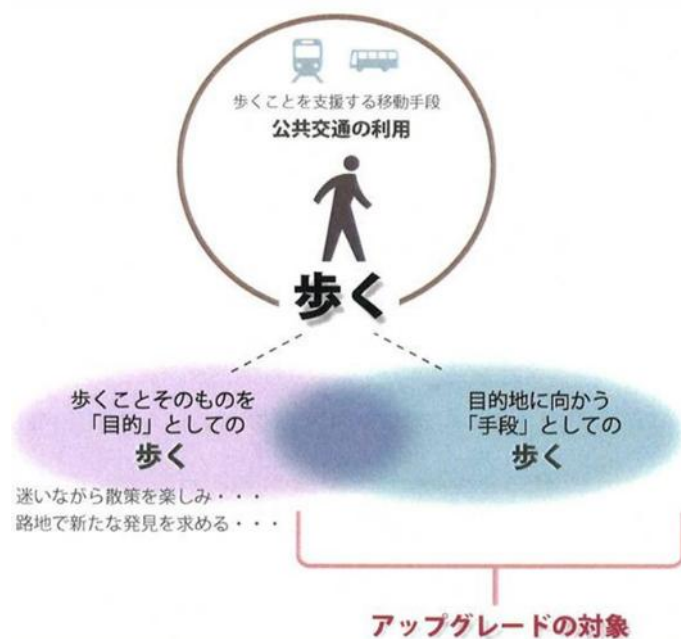
バス停や地下鉄駅、セブン-イレブン、公共施設等において、誰もが無料でインターネットを利用できる無線LANスポットを、全国最大規模の市内630箇所に順次設置し、運用を開始

KYOTO_WiFi
(キョウト ワイファイ)





シンプルで分かりやすい案内標識を整備。





高齢者や障害を持った方などを含め、誰もが観光を楽しめる環境を整備。

ユニバーサル・ツーリズム、コンシェルジュ機能、モデルコースの充実

<京都ユニバーサル観光ナビ>





観光客等の帰宅困難者対策等を実施。

観光客等の帰宅困難者対策

- ・「京都市観光地避難誘導取組指針」及び「京都市観光地避難誘導計画（ひな形）」の策定（平成25年3月）
- ・清水・祇園地域，嵯峨・嵐山地域における「帰宅困難観光客避難誘導計画」の策定（平成25年12月）
- ・緊急避難広場（21箇所），一時滞在施設（114施設）及び避難誘導（13団体）の協定を締結（平成25年11月）

東日本大震災を教訓に・・・

被災者支援

被災地に保健師や薬剤師，建築士，教員など専門的な職員を直ちに派遣するなど，本市の総力を挙げて救援・救助活動を展開

防災対策

京都市防災総点検

東日本大震災で浮き彫りになった課題を精査し，これまでの京都市の防災対策を専門委員を交えて点検し130項目を提言。現在，スピード感をもって実施中。



平成24年から開催。3年目となる今年は1万6千人のランナーが都大路を快走。





2月に東京都内の各所で多彩で奥深い京都の魅力を発信する様々なイベントを平成23年から実施



和食が平成25年12月にユネスコ無形文化遺産に登録。

あらゆる機会での情報発信

和食，日本酒を始めとする多彩な食文化を持つ京都

日本料理の更なる発展のために，観光を中心としたあらゆる機会を活用して，京料理をはじめとした日本料理の精神性などを日本の食文化として発信を図っていく。

和食とは？

- ・多様で豊富な旬の食材，食品で栄養バランスに優れる。
- ・年中行事等と密接な結びつきを持つ食文化
- ・諸外国からも高い評価

京料理とは？

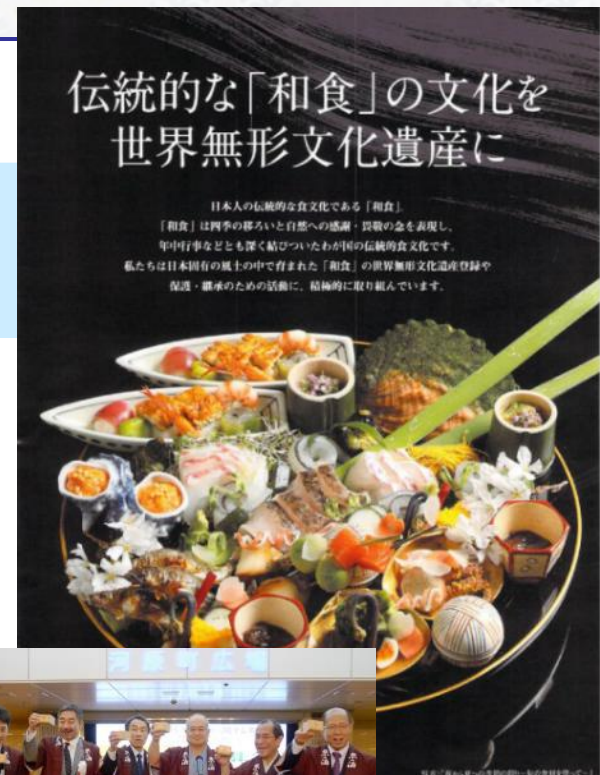
- ・地元の新鮮な食材を活かし，料理だけでなく，食器，部屋のしつらえなど，五感全て味わう日本の食文化の象徴

京都市清酒の普及の促進に関する条例

- ・酒どころである伏見を中心に，京都の日本酒の普及と和の文化への理解促進へ向け，議員提案で全国で初めて制定

就労ビザの発行

- ・地域活性化総合特区の特例措置として，料理の修業のために就労ビザの発行資格についての規制が緩和（平成25年11月）





閑散期である冬の誘客を促進するため、食のキャンペーンを実施。

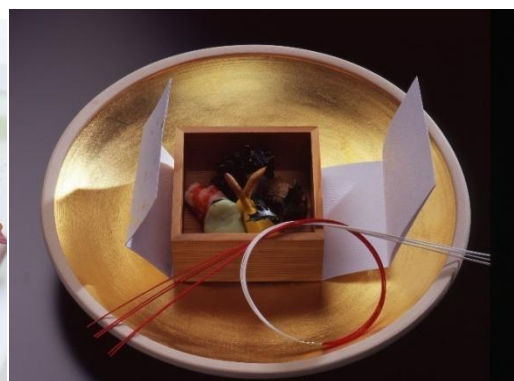
京都レストランウインタースペシャル

国内・海外の観光客をはじめとする全世界の人々を対象に、「ほんまものの京都の料理」を体験していただき、京都の食文化をより一層理解していただくとともに、閑散期である京都の冬の観光客誘致を促進。

開催年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
参加店舗数	109	83	88	114	150
特別メニュー利用件数	2,123	1,536	2,825	2,708	約5,000(集計中)



京都レストラン
ウインタースペシャル2014
Kyoto Restaurant Winter Special





平成19年から「新景観政策」による景観保全を推進。

＜新景観政策の5つの柱＞

- **建物の高さ** 地域の特性に合わせたきめ細かな高さの設定
都心部の幹線道路沿道：**45m⇒31m**
京町家が残る旧市街地：**31m⇒15m**
- **建物等のデザイン** 市街地のほぼ全域に、風致地区や景観地区等を指定し、地域ごとにふさわしい建物等のデザイン基準を設定
- **眺望景観・借景** 歌にも詠まれた優れた眺めや比叡山を庭園の眺めに取り込む借景など38箇所の優れた眺望景観・借景の保全
- **屋外広告物** 屋上看板や点滅照明の禁止、屋外広告物の表示位置、面積、デザインの見直し、違反指導の強化、優良な屋外広告物への支援
- **歴史的な町並み** 伝統的な建築様式と生活文化を伝える京町家など伝統的な建築物の外観修景に助成を行い、歴史的な町並みを保全・再生



京町家が残る旧市街地の
高さイメージ



新景観政策以降に
建設された建物



賀茂川右岸から
大文字の眺め



京町家の修理修景の事例



平成19年9月から平成26年8月までの7年間を経過措置期間として設定し、平成26年8月までに屋外広告物の適正化を実施（進行中）。

屋上屋外広告物を全面禁止

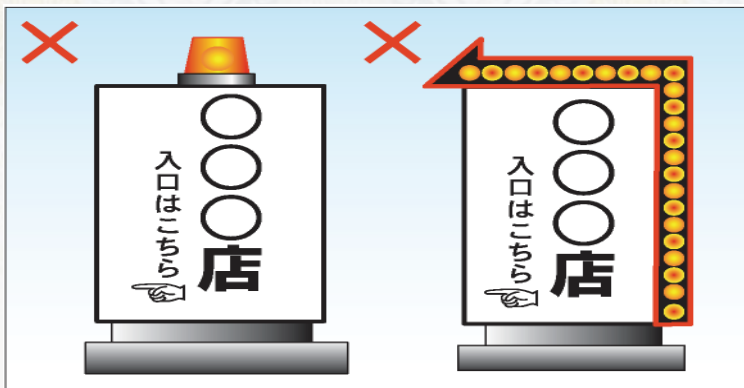


大きさ・高さ・色彩の規定

市内全域を21種類の規制区域に分け、それぞれの地域の特性に応じて、大きさ・高さ・色彩など全国でも例を見ないきめ細やかな基準を定め、規制。

点滅式照明、可動式照明を全面禁止

地域ごとにきめ細かく規定



京都景観賞の創設



平成24年度市長賞
「一保堂茶舗」

京都にふさわしい広告物の普及促進を目的として、平成24年度に創設。
平成24年度は、10件の市長賞をはじめ303件を表彰。
平成25年度は、18件の市長賞をはじめ218件の表彰等を予定。

1-1 「未来・京都観光振興計画2010+⁵」の総括 「世界の京都・まちの美化市民総行動」の実施



～楽しくきれいを広げよう～「京都・まち美化大作戦」の実施



外国人観光客個別満足度調査において、街のきれいさ・清潔さで高い満足度

項目	大変良かった ←————→ 大変悪かった							平均	体験していない
	7	6	5	4	3	2	1		
街のきれいさ, 清潔さ	62.8%	28.3%	6.5%	1.6%	0.5%	0.2%	0.1%	6.5	10.40%

97.6%

出典：京都観光総合調査（2012）

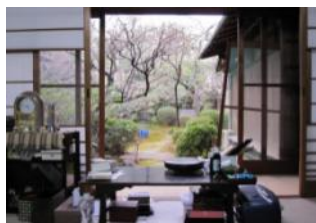


「京都をつなぐ無形文化遺産」制度を創設。

- 京都には、数多くの有形、無形の文化遺産が、世代を越えて継承されている。
- これらについては、文化財や景観の各種制度で守っているが、中には既存制度の適用が困難なものもある。
- そこで京都市では、平成23年度に、京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園を市民ぐるみで残そうという気運を高め、様々な活用を進めることなどにより、それらの維持・継承を図るため、京都市独自の制度として、**“京都を彩る建物や庭園”制度**を創設。
(平成26年2月現在 175件を選定、うち特に価値の高いもの37件を認定)
- 平成25年度には、無形文化遺産の価値を再発見、再認識し、内外に魅力を発信するとともに、大切に引き継いでいこうという市民的気運を盛り上げるため、京都市独自の制度として、**“京都をつなぐ無形文化遺産”制度**を創設。(平成25年10月「京の食文化」選定、平成26年3月「京・花街の文化」(選定予定))

有形文化遺産

京都を彩る 建物や庭園



文化財保護法・条例に基づく 指定・登録文化財



無形文化遺産

京都をつなぐ 無形文化遺産





新たな着物ファン獲得に向けた取り組みや、コンテンツ産業を推進。

“Fashion Cantata from KYOTO” ～恋～



京都国際マンガ・アニメフェア（京まふ）



京まふ公式キャラクター「都萌(ともえ)ちゃん」
(C)藤島康介/クロノギアクリエイティヴ

京都きもの パスポート



京都版トキワ荘事業

～漫画家志望者向け支援プロジェクト～





京都の新たな魅力創出のために常に新しい挑戦を推進。

1. 下京西部地域（梅小路公園）再整備

- ・ 京都水族館（平成24年3月開業）
- ・ 国内最大級の京都鉄道博物館（平成28年春開業予定）
- ・ 京都市中央卸売市場第一市場



京都水族館提供

2. 岡崎地域活性化

- ・ ロームシアター京都（京都会館）再整備（平成28年1月開館予定）
- ・ 京都市動物園開園110周年（平成25年）
- ・ 京都市美術館開館80周年（平成25年）



ロームシアター京都

3. 新たな祭りの創出

- ・ 京都学生祭典（平成15年秋開始）
- ・ PARASOPHIA：京都国際現代芸術祭2015



目的地までの経路や所要時間を調べられる、歩くまち京都アプリ「バス・鉄道の達人」を平成25年8月から運用開始。

●日本語版



メニュー画面



トップ画面



乗換検索結果



ナビゲーション

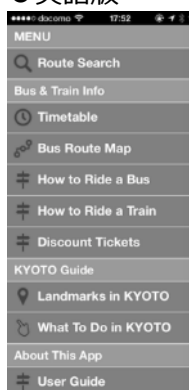


ロングインタビュー



観光施設情報

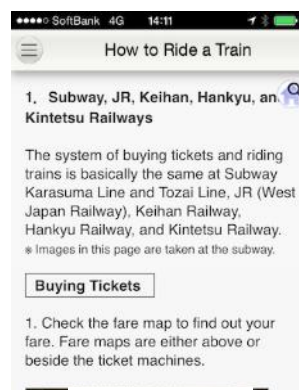
●英語版



メニュー画面



観光施設情報



電車の乗り方



乗換検索結果



ロングインタビュー



その他イベント開催情報



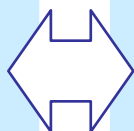
空港から京都へのアクセス改善を推進。

官民協同による統一乗車券の発売 等

- ・ 関空から京都へのアクセス
約1時間15分（関空特急はるか）



- ・ 他都市における空港から市内までのアクセス
 - パリ 約30分（高速郊外地下鉄 RER）
 - ロンドン 約20分（ヒースローエクスプレス）

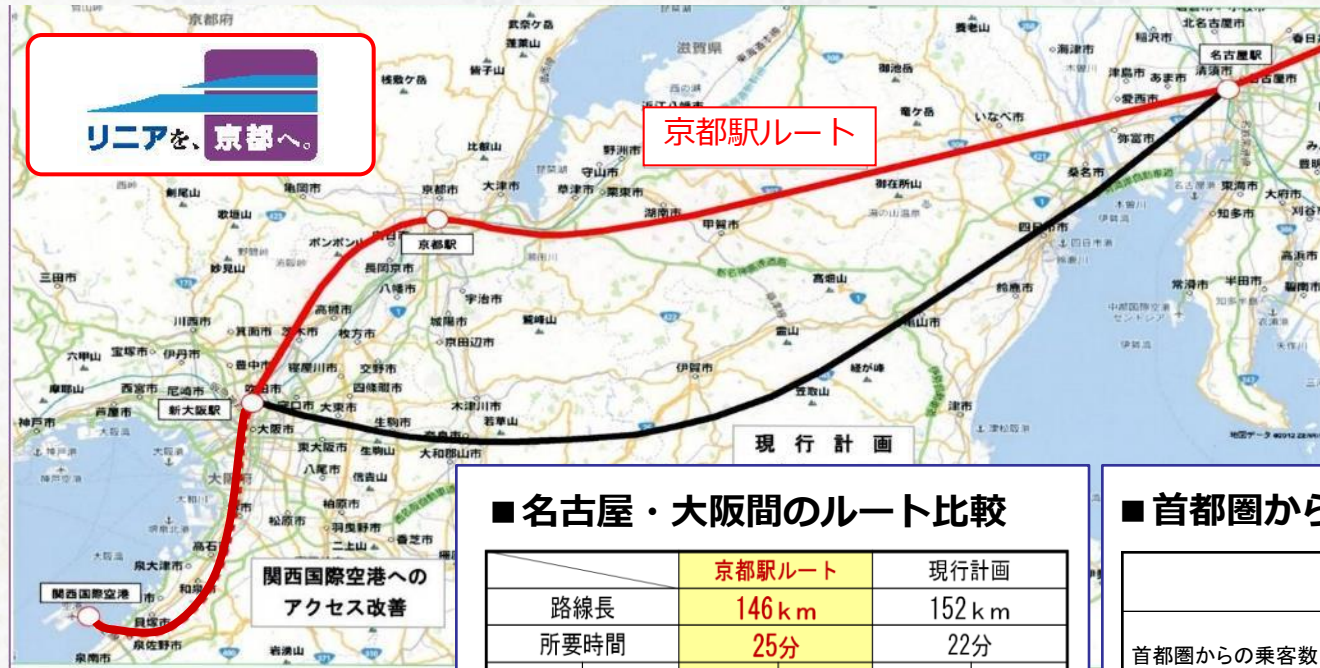


- ・ 京都市，大阪市，阪急電鉄，南海電気鉄道共同による
河原町－関空 1,200円乗車券の発売 等



新たな国土軸となるリニア中央新幹線は、国家政策として日本にとって最適なルートで整備すべく、活動（実施中）。

現行ルートは、41年前（昭和48年）に、全国新幹線鉄道整備法に基づき、リニアの技術を前提とせず「第二東海道新幹線」（東海道新幹線の老朽化・事故に備えた代替ルート）として決定され、その後、複数ルートの比較検討は一度もされていない。



「京都駅ルート」
の実現

東京・大阪間の
全線同時開業
が必要

関西国際空港へのリニア
延伸によるアクセス
改善

■名古屋・大阪間のルート比較

	京都駅ルート	現行計画
路線長	146 km	152 km
所要時間	25分	22分
建設費	路線	2.94兆円
	駅	0.51兆円
	4駅	3.45兆円
		2.70兆円
		0.47兆円
		3駅
		3.17兆円

(出典:「明日の京都の高速鉄道検討委員会」資料)

■首都圏からの流入による効果速報値

	京都駅ルート	奈良市付近を通るルート
首都圏からの乗客数	1,200万人/年	300万人/年
経済波及効果	810億円/年	420億円/年

(出典:「第1回京都市リニア中央新幹線京都誘致推進本部会議」資料)

1 「未来・京都観光振興計画2010⁺5」

1-2 「未来・京都観光振興計画2010⁺5」の成果



「未来・京都観光振興計画2010⁺」に係る指標

「質」と「量」の2つを測るため、「京都で感動した観光客の数（観光客数×感動があった人の割合）」を〈指標〉とし、観光客数5,000万人を維持しつつ、その中で京都において感動があった人の割合を100%に近づけることで、「5000万人感動都市」を達成する事を〈目標〉とした。

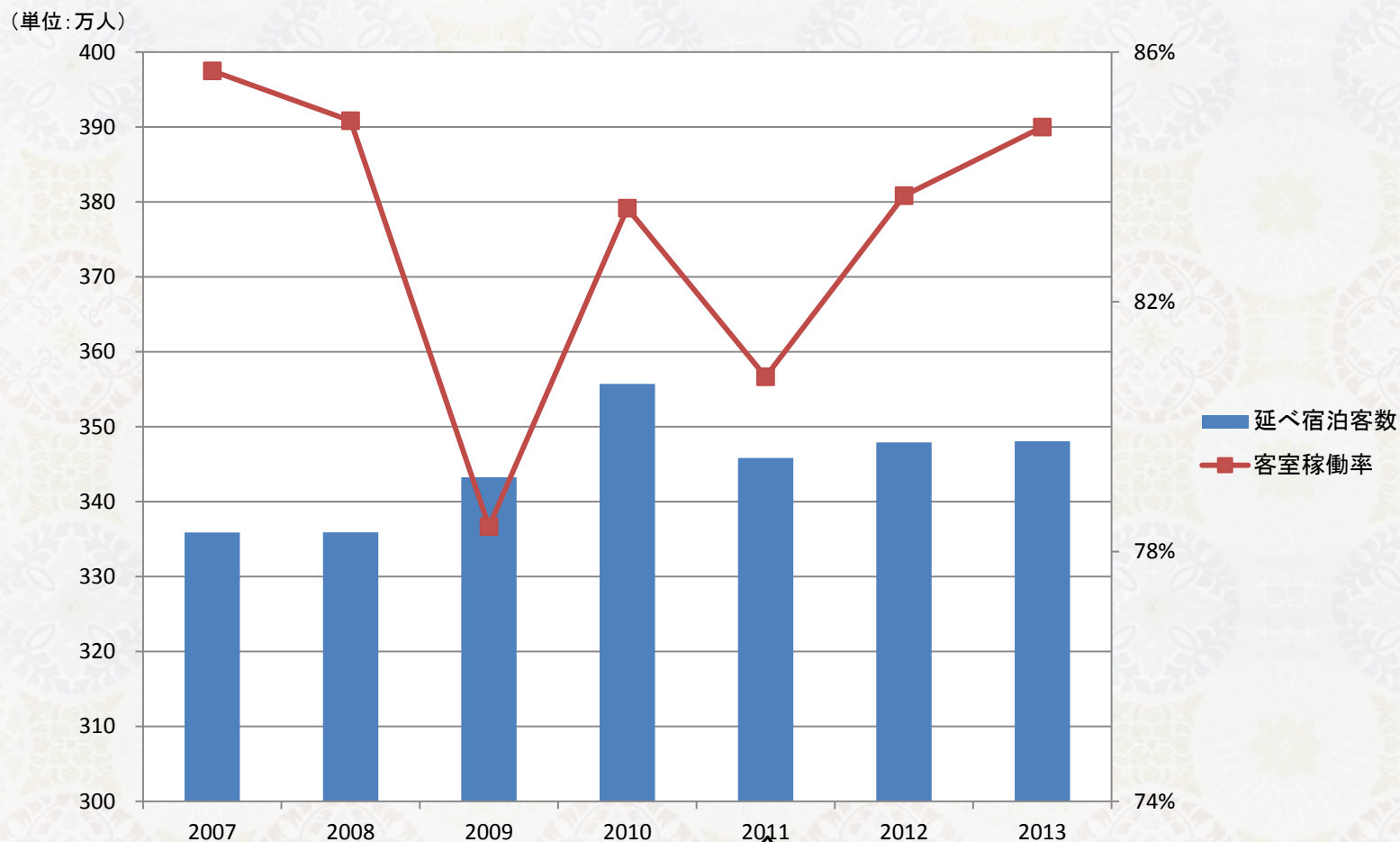
指標	目標値	平成24年	平成22年
京都で感動した観光客の数 (観光客数×感動があった人の割合)	5,000万人	割合：83.3%	割合：78.6% 3,895万人

参考指標	目標値	平成24年		平成22年	
		日本人	外国人	日本人	外国人
再来訪希望度（7段階中6・7の評価）	前年比改善	79.3%	69.2%	85.5%	69.5%
居住希望（7段階中6・7の評価）		74.0%	——	32.8%	——
総合満足度（7段階中6・7の評価）		68.3%	85.5%	71.0%	84.3%

※平成25年については集計中



京都の宿泊客は東日本大震災以降、堅調に回復。



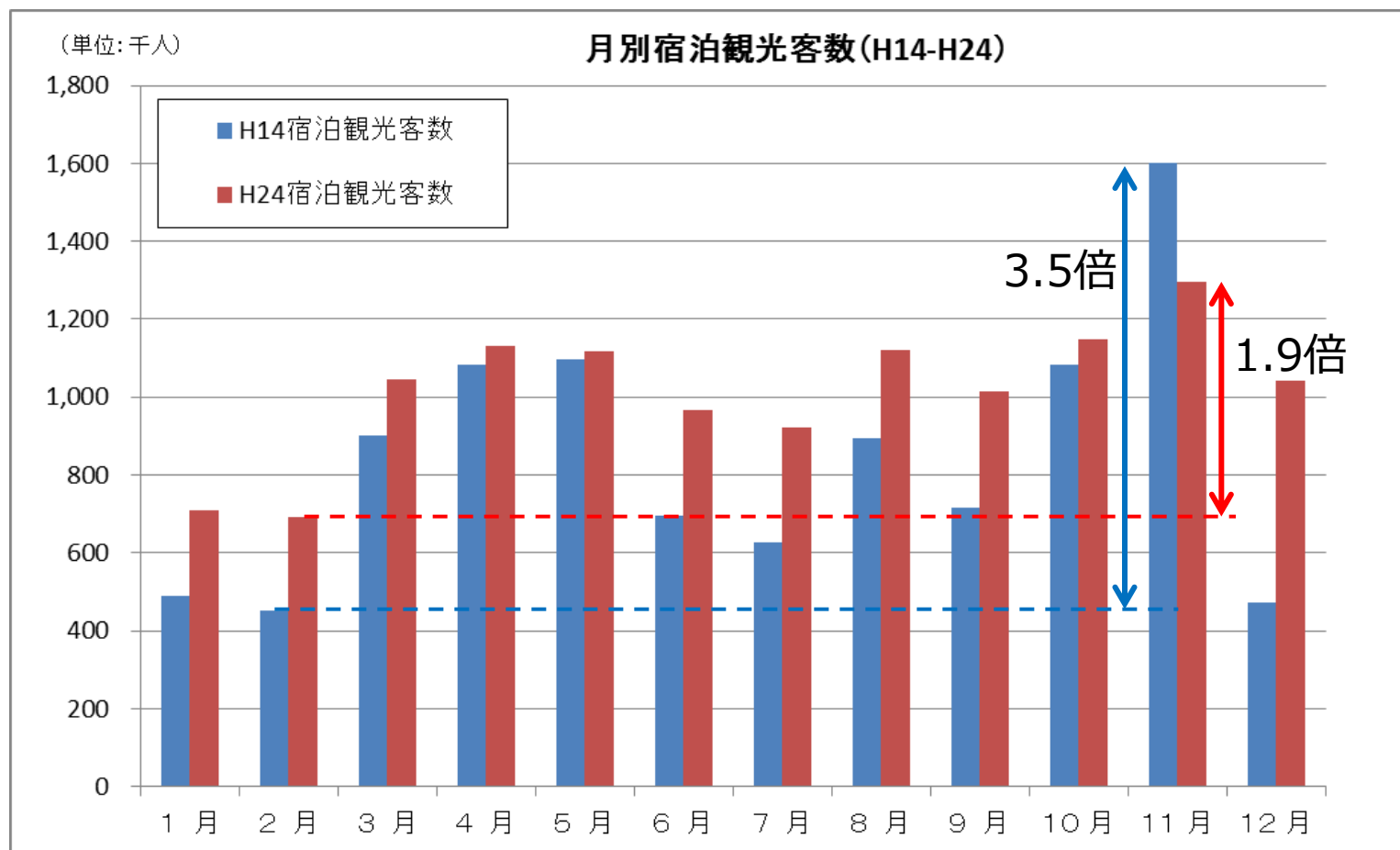
世界的な景気低迷
新型インフルエンザ

東日本大震災

出典：日本ホテル協会



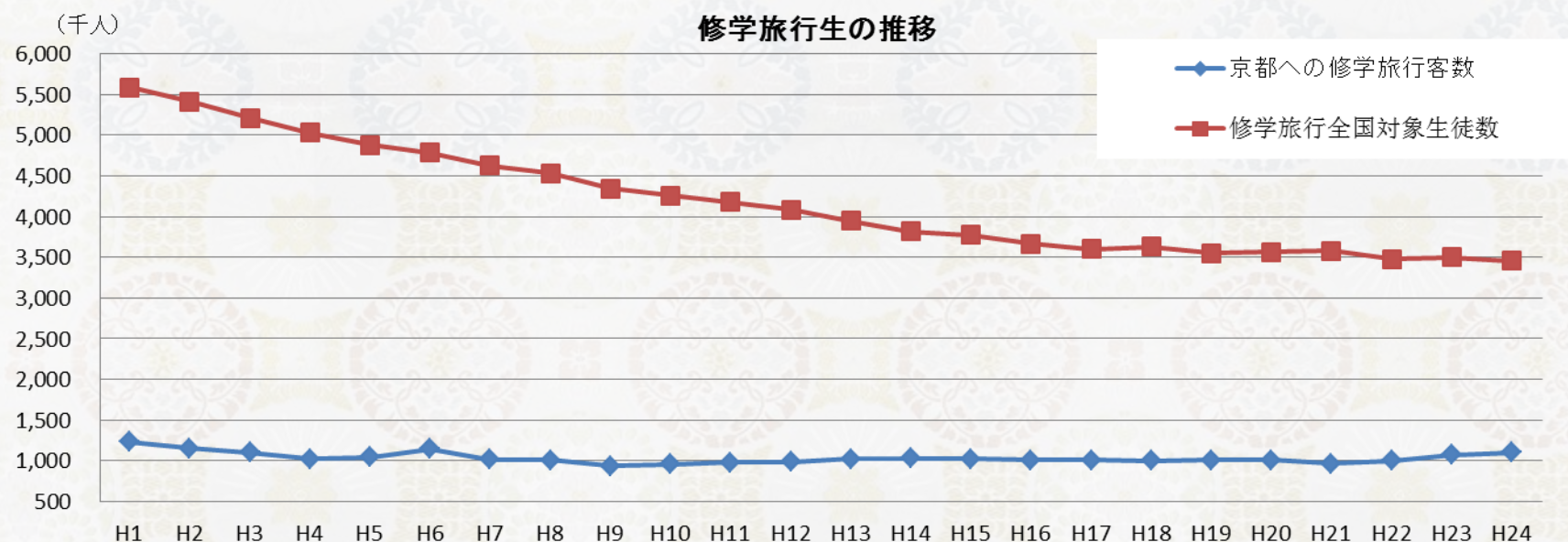
閑散期（2月）と繁忙期（11月）の差が10年前に比べ、大きく縮小。
（3.5倍から1.9倍に）



出典：京都観光総合調査（2012年）



この15年間で、京都を訪れる修学旅行生は、全国対象生徒数の5人に1人から3人に1人へ
学生数減少などマイナス要因がありながら、京都を訪れる修学旅行生は割合は増加。



注) 平成23年以降、調査手法が異なるため、22年以前と単純比較は出来ない。

出典：京都観光総合調査（2012年）

全国対象生徒数
京都への修学旅行生数

平成9年 22%
4,344千人
939千人



平成24年 32%
3,456千人
1,105千人

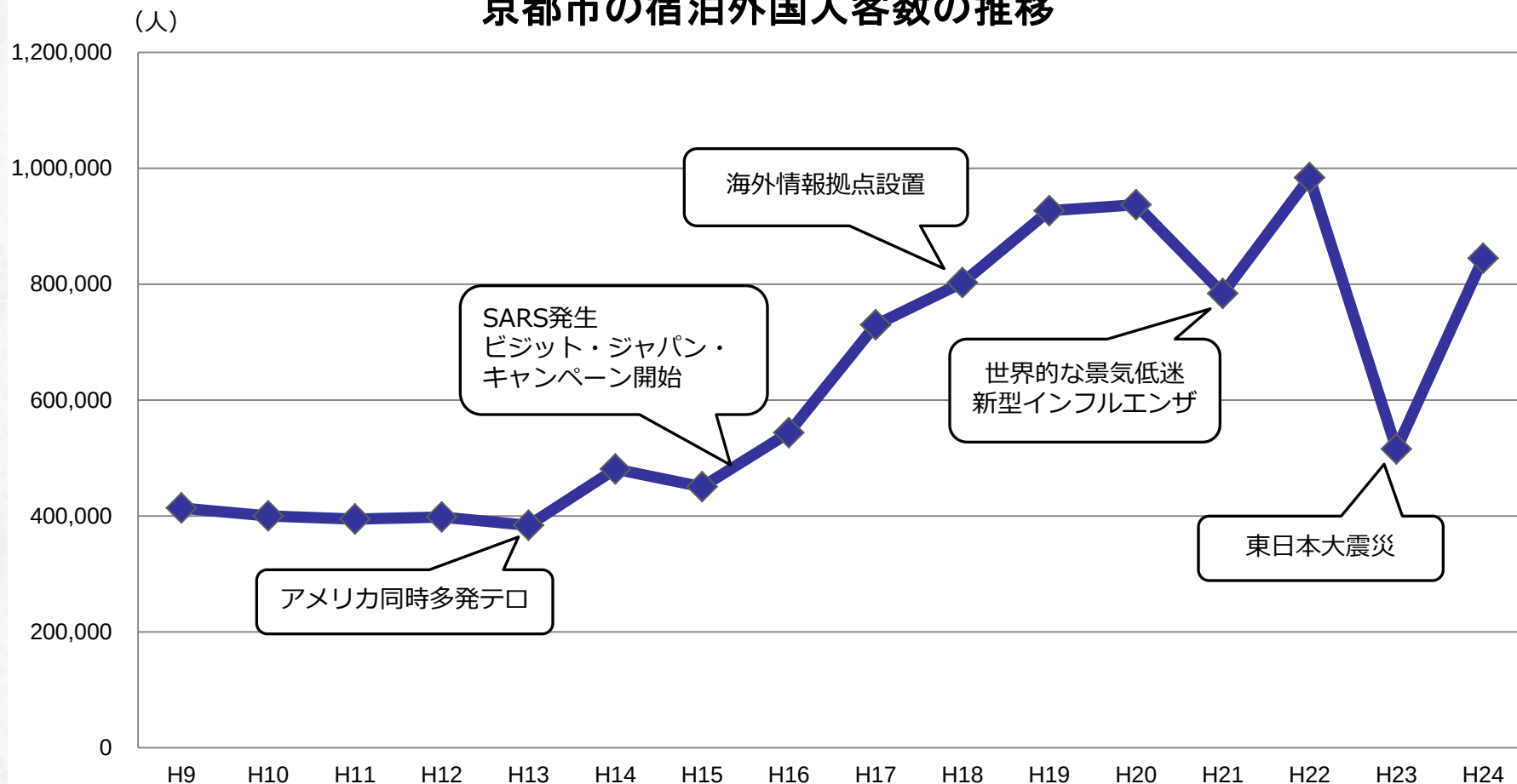
京都への修学旅行生維持に向けて・・・

- ・ 修学旅行ニーズの把握（団体行動から班別行動による事前学習用資料の提供）
- ・ 修学旅行動向の把握（新規実施校獲得に向けた営業活動先の選定等）
- ・ 旅館組合、旅行会社等との密接な情報交換による官民一体となった修学旅行誘致



宿泊外国人観光客数は、外的要因の影響を受けながらも、10年前の2倍以上に。

京都市の宿泊外国人客数の推移

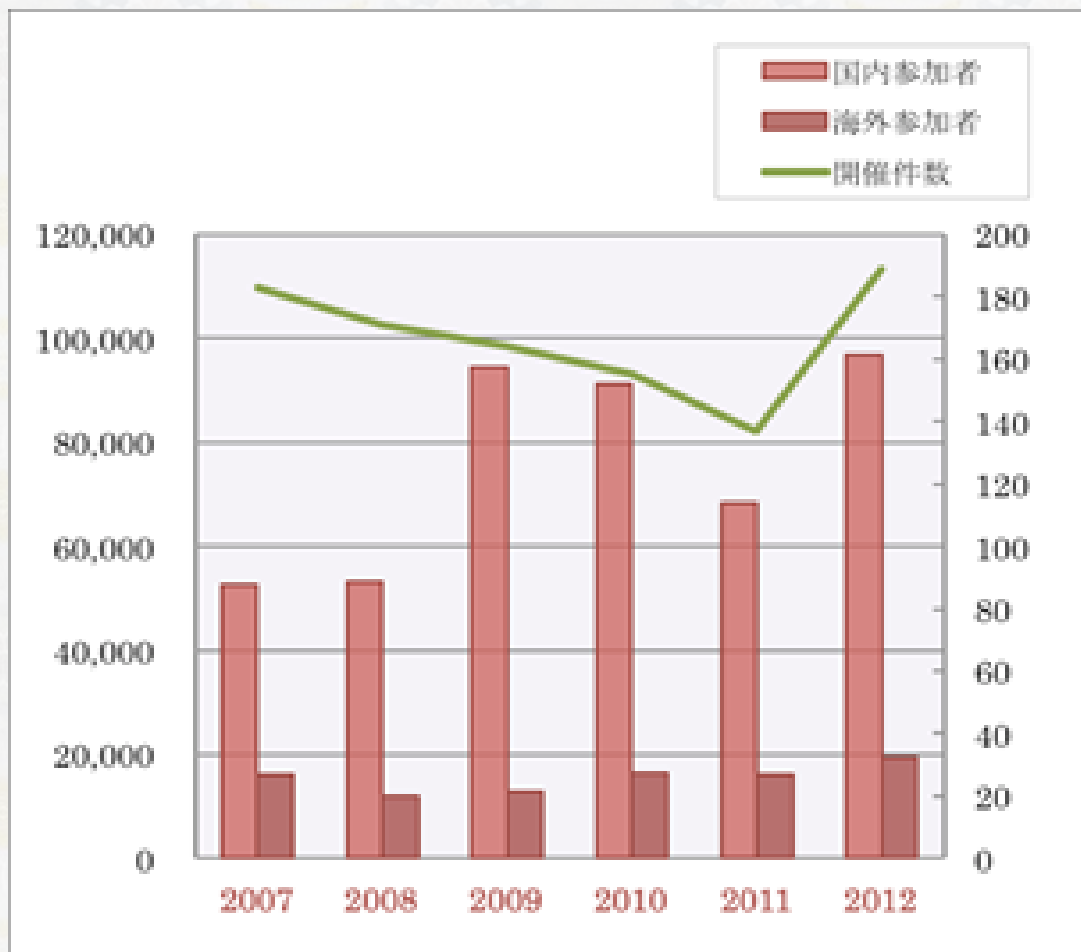


注) 平成23年以降、調査手法が異なる(調査対象となる宿泊施設増)ため、
22年以前と単純比較は出来ない。

出典：京都観光総合調査(2012年)



2012年、件数・人数ともに過去最高を記録。



出典：京都文化交流コンベンションビューロー



2012年の開催件数は、3位に上昇。

都市別国際会議の開催件数

	2008年	件数(件)	2009年	件数(件)	2010年	件数(件)	2011年	件数(件)	2012年	件数(件)
1位	東京(23区)	480	東京(23区)	497	東京(23区)	491	東京(23区)	470	東京(23区)	500
2位	横浜市	184	福岡市	206	福岡市	216	福岡市	221	福岡市	252
3位	福岡市	172	横浜市	179	横浜市	174	横浜市	169	京都市	196
4位	京都市	171	京都市	164	京都市	155	京都市	137	横浜市	191
5位	名古屋市	130	名古屋市	124	名古屋市	122	名古屋市	112	大阪市	140
6位	神戸市	94	大阪市	94	神戸市	91	神戸市	83	名古屋市	126
7位	つくば地区	80	札幌市	82	札幌市	86	札幌市	73	千里地区	113
8位	札幌市	77	神戸市	76	仙台市	72	大阪市	72	神戸市	92
9位	大阪市		つくば地区	74	つくば地区	69	千里地区	54	仙台市	81
10位	千葉市	67	千里地区	71	大阪市		つくば地区	46	札幌市	61
11位	仙台市	63	千葉市	63	千里地区	65	仙台市	40	つくば地区	53
12位	千里地区	53	仙台市	60	千葉市	56	北九州市	38	北九州市	45
13位	北九州市	47	北九州市	50	北九州市	49	千葉市	30	広島市	37
14位	広島市	32	金沢市	27	奈良市	33	金沢市	26	千葉市	32
15位	奈良市	29	淡路市	25	金沢市	31	広島市	24	奈良市	30

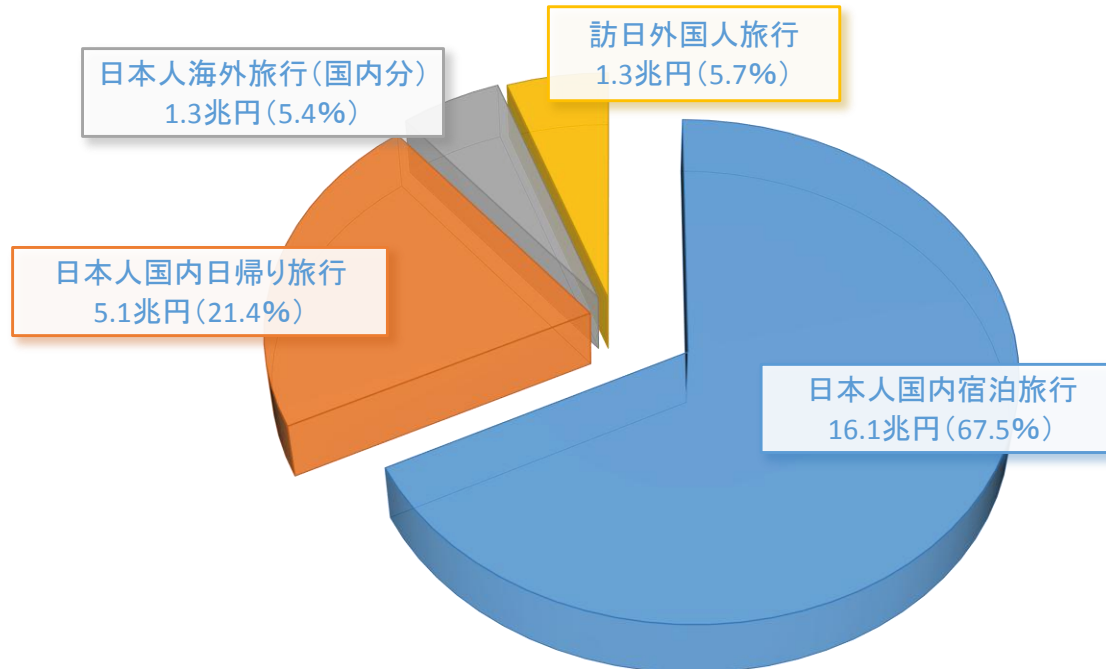
出典：日本政府観光局（JNTO）

2 観光を巡る環境の変化

2-1 国内旅行市場と京都市の状況



全体消費額に占める日本人の国内旅行の割合が大きいのが現状。



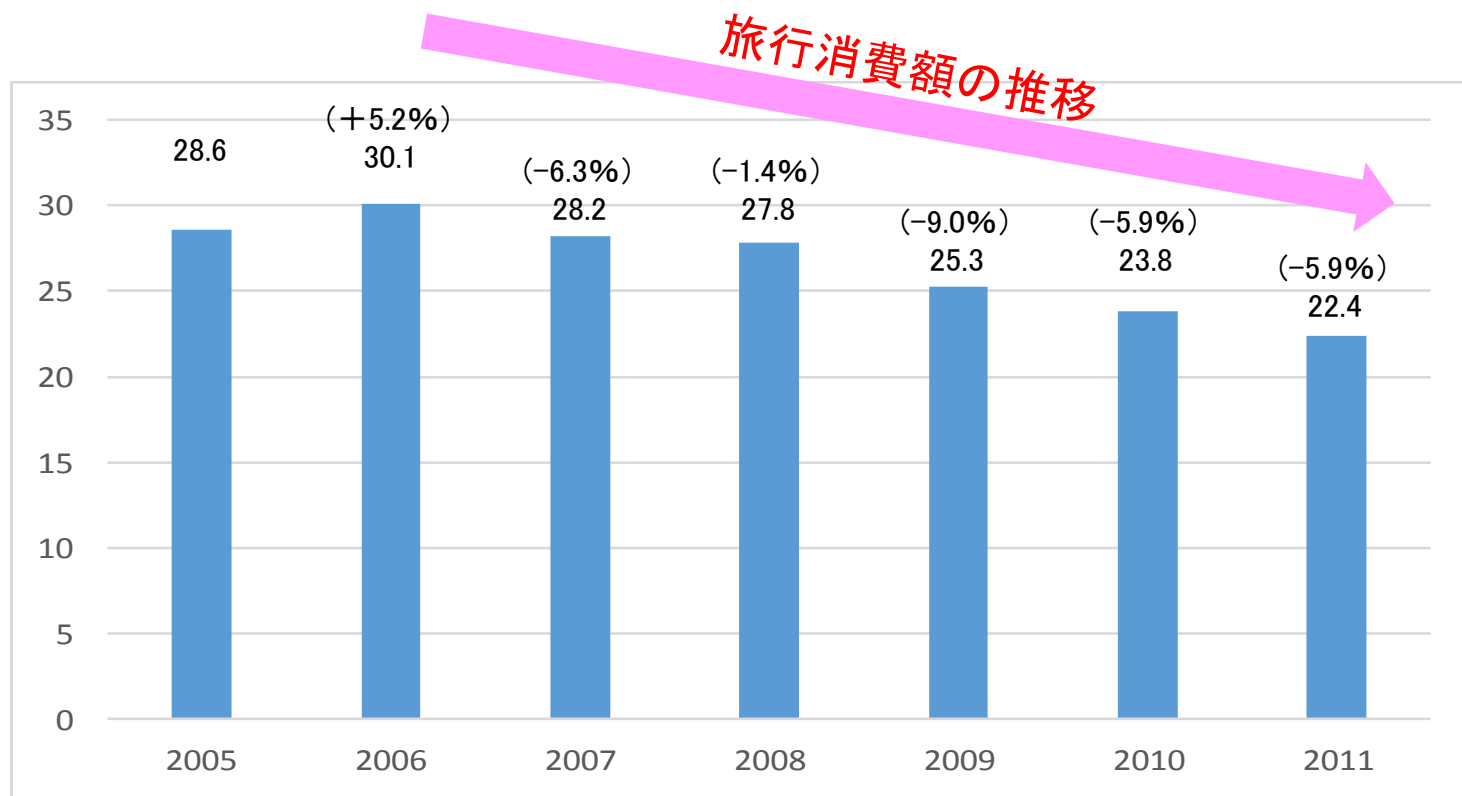
出典：国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」，日本銀行「国際収支状況」

生産波及効果	49.4兆円	→5.5%	(対国民経済計算 算出額)
付加価値誘発効果	25.2兆円	→5.2%	(対名目GDP)
雇用誘発効果	424万人	→6.6%	(対+全国就業者数)
税収効果	4.0兆円	→5.3%	(対国税+地方税)

2-1 国内旅行市場と京都市の状況 国内市場の縮減（旅行消費額の推移）



2006年をピークとして、年々縮小傾向。



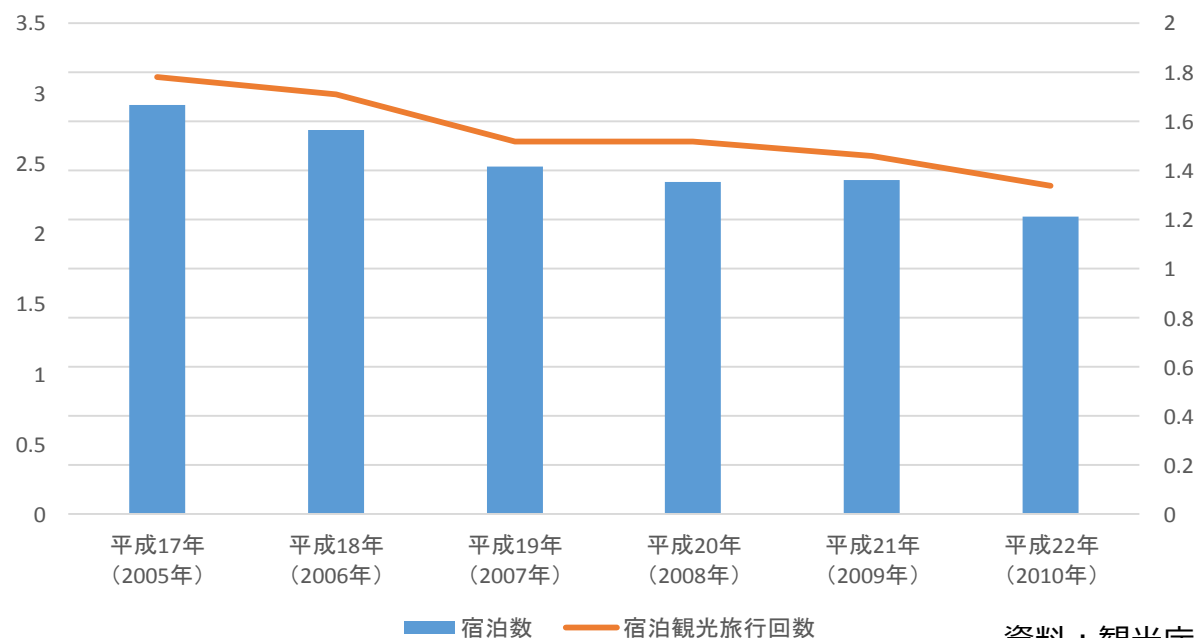
（単位：兆円）
（括弧内は対前年増減）

出典：観光庁資料により作成 TSAベース

2-1 国内旅行市場と京都市の状況 国内宿泊旅行日数等の推移



宿泊を伴う旅行が年々減少傾向。



資料：観光庁

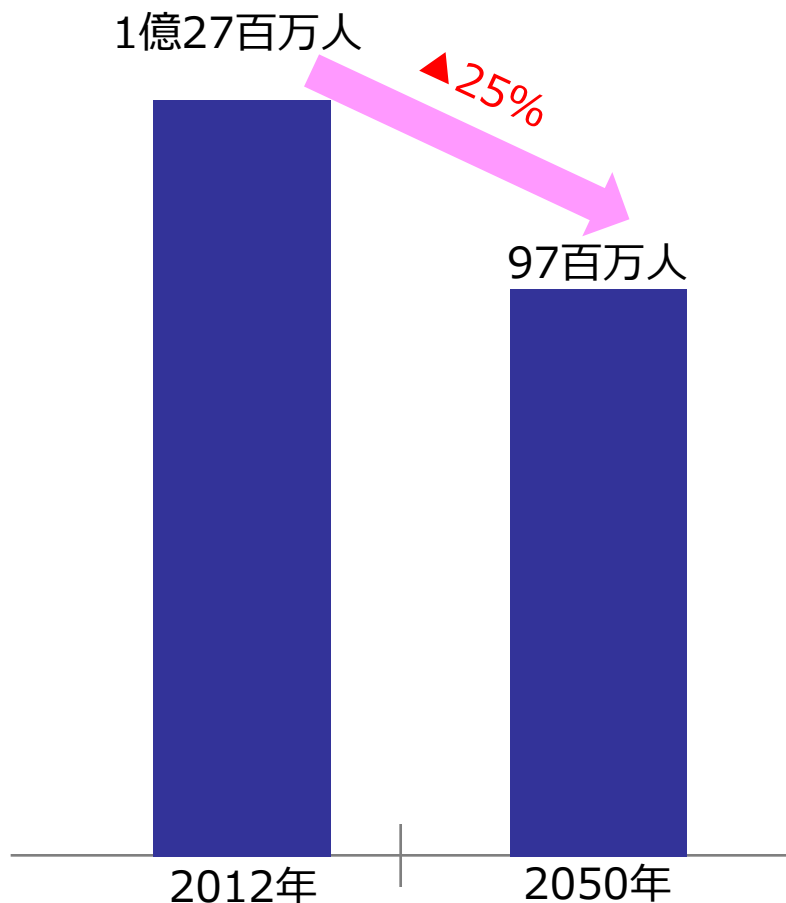
	平成16年 (2004年)	平成17年 (2005年)	平成18年 (2006年)	平成19年 (2007年)	平成20年 (2008年)	平成21年 (2009年)	平成22年 (2010年)
宿泊旅行実施率(%)	65.4	66.1	64.7	63.8	53.1	50.3	56.7
実施者の年間旅行回数	2.73	2.78	2.77	2.83	2.84	2.79	2.73
実施者の1回当たりの宿泊数	1.58	1.72	1.69	1.69	1.68	1.65	1.64

出典：(株)リクルート ジャらんリサーチセンター「じゃらん宿泊旅行調査」



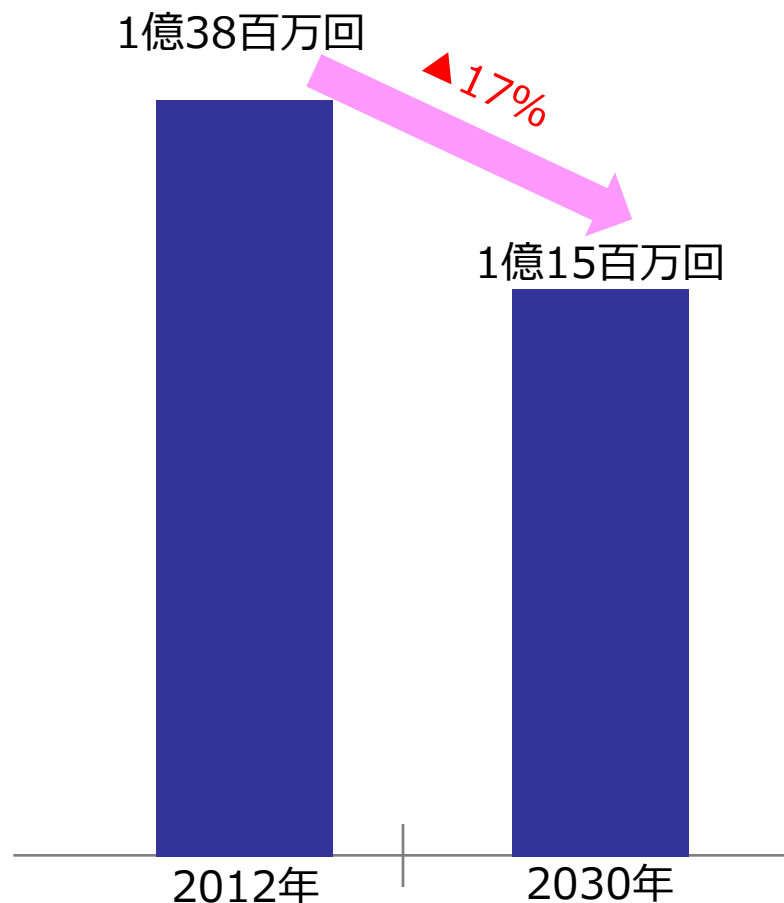
人口は減少し、国内旅行回数も減少予想。

日本の人口の推移



出典：国立社会保障・人口問題研究所

国内旅行回数



出典：日本政策投資銀行推計



観光庁は、観光立国推進基本計画で国内旅行消費拡大の目標を設定

目標の分類	観光立国の実現に関する目標	観光立国の実現に係る参考指標
観光による 国内消費の 拡大	国内における旅行消費額 〔平成21年（2009年）：25.5兆円〕 平成28年（2016年）までに30兆円	国内宿泊旅行消費額 平成28年（2016年）までに18兆円 国内日帰り旅行消費額 平成28年（2016年）までに6.5兆円 訪日外国人旅行消費額 平成28年（2016年）までに3兆円

出典：観光庁 観光立国推進基本計画
平成24年3月策定

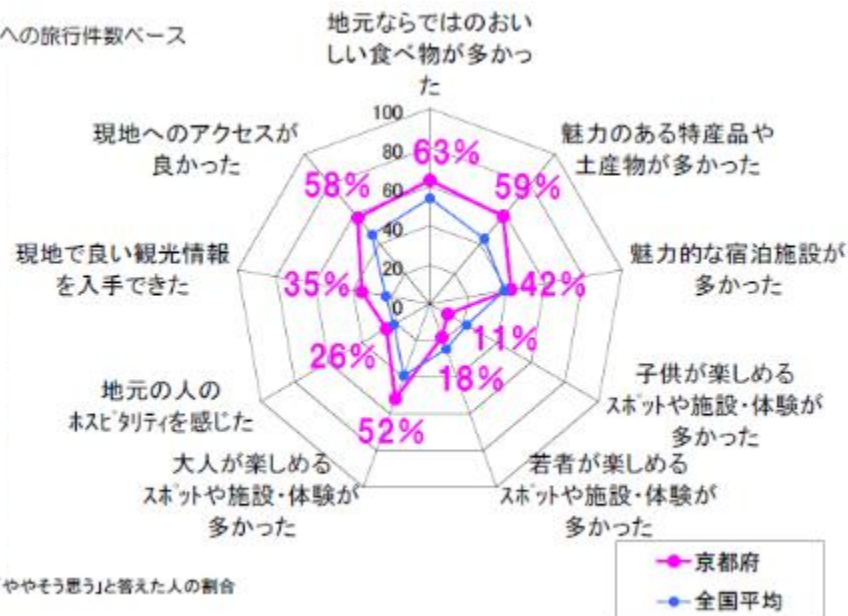
2-1 国内旅行市場と京都市の状況 京都の満足度



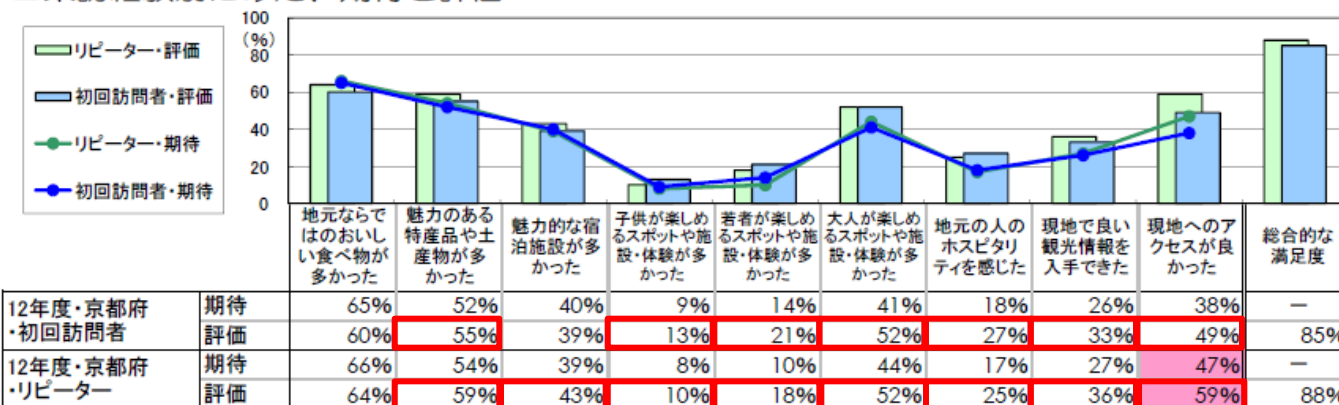
■総合的な満足度と項目別評価（単一回答） ※各県への旅行件数ベース

	12年度
総合的な満足度	87% (3位)
(全国平均 81%)	
	12年度
地元ならではのおいしい食べ物が多かった	63% (17位)
魅力のある特産品や土産物が多かった	59% (2位)
魅力的な宿泊施設が多かった	42% (16位)
子供が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	11% (41位)
若者が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	18% (22位)
大人が楽しめるスポットや施設・体験が多かった	52% (3位)
地元の人のホスピタリティを感じた	26% (11位)
現地で良い観光情報を入手できた	35% (2位)
現地へのアクセスが良かった	58% (4位)

※総合的な満足度・・・「とても満足」「やや満足」と答えた人の割合 ※項目別評価・・・「そう思う」「ややそう思う」と答えた人の割合



■米沢経路別に、期待と評価



※項目別期待・・・「とても期待していた」「やや期待していた」と答えた人の割合

※初回訪問者とリピーターの差が5ポイント以上ある項目に網がけ

出典：じゃらん「宿泊旅行調査2013」

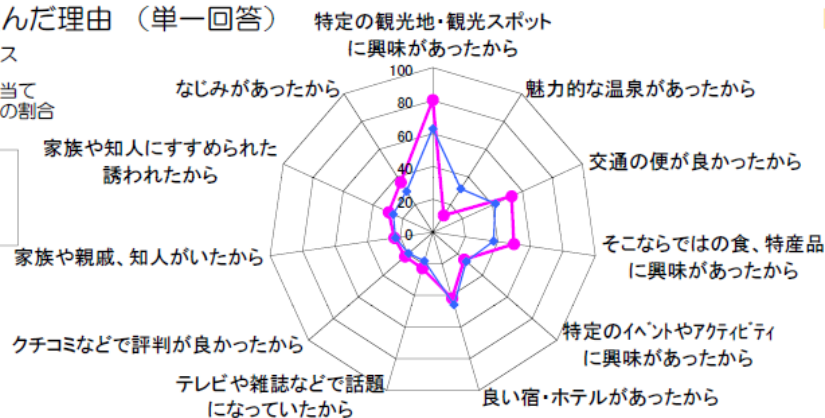
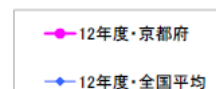
2-1 国内旅行市場と京都市の状況 京都のブランド力



■この旅行先を選んだ理由（単一回答）

※各県への旅行件数ベース

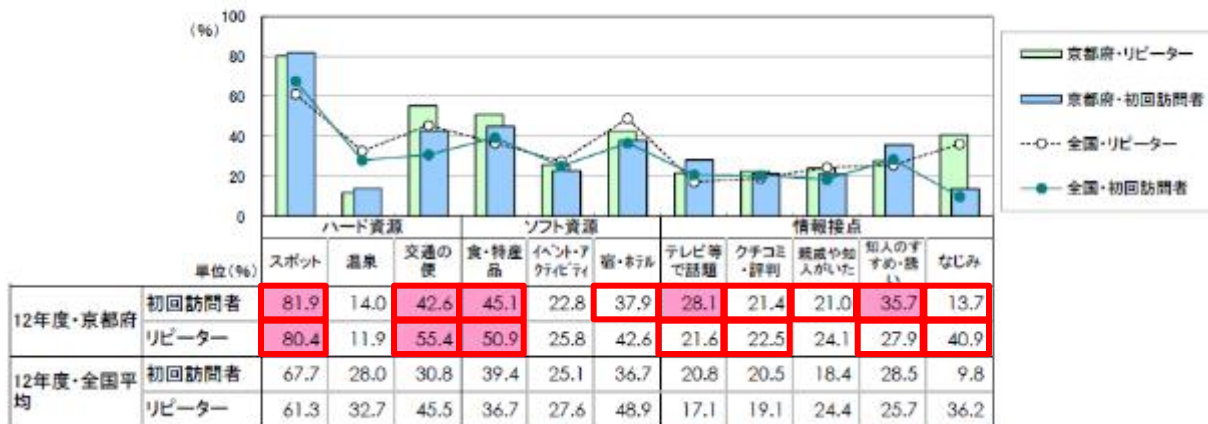
※「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた人の割合



単位(%)	ハード資源			ソフト資源			情報接点				
	スポット	温泉	交通の便	食・特産品	イベント・アクティビティ	宿・ホテル	テレビ等で話題	クチコミ・評判	親戚や知人がいた	知人のすすめ・誘い	なじみ
12年度・京都府	80.4	12.3	52.7	49.9	25.2	41.7	22.7	22.4	23.6	29.5	36.1
12年度・関西ブロック平均	65.8	20.2	48.3	38.0	26.9	42.0	17.1	18.4	24.3	26.9	29.9
12年度・全国平均	62.9	31.5	41.9	37.4	27.0	45.8	18.1	19.5	22.9	26.5	29.5

※全国平均より5ポイント以上高い項目に網がけ

■来訪経験別にみた、この旅行先を選んだ理由



※初回訪問者・リピーターそれぞれ、全国平均より5ポイント以上高い項目に網がけ

出典：じゃらん「宿泊旅行調査2013」

2 観光を巡る環境の変化

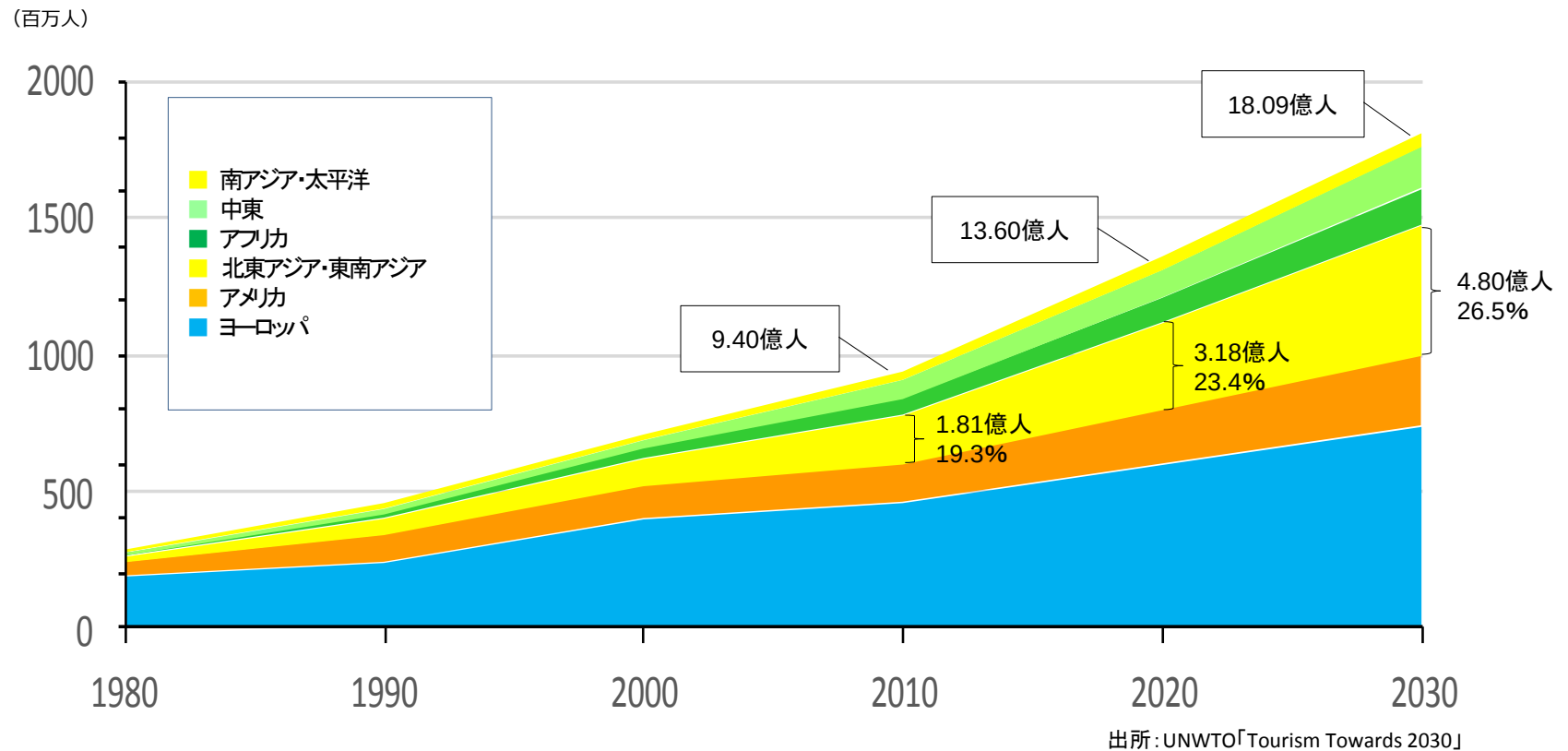
2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況

2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況 国際観光客到着数の推移



国際観光客数は、2012年に初めて10億人を突破。
今後も更に高い伸びが期待される。

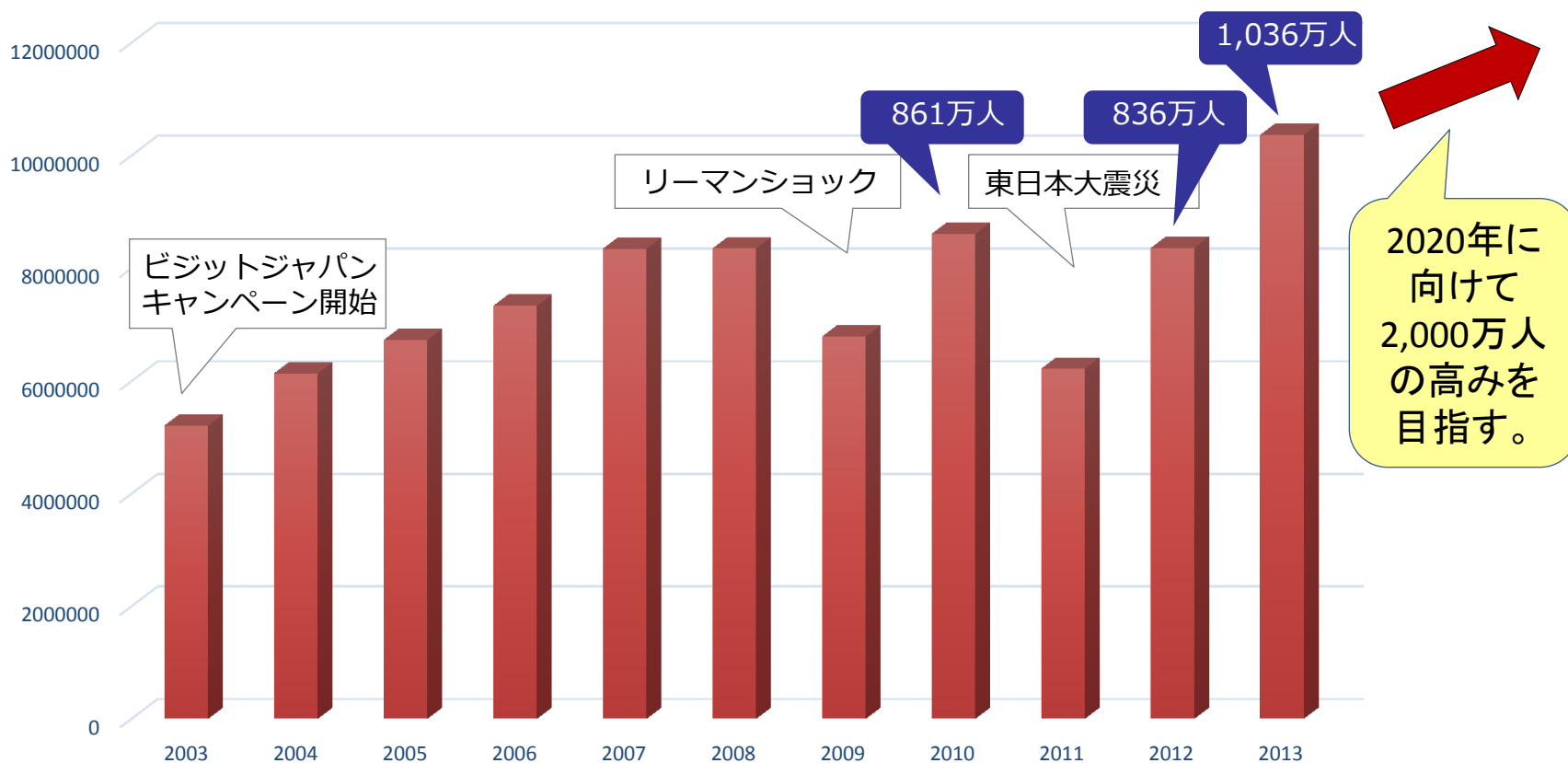
国際観光到着客数予測



2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況 訪日外国人旅行者数の推移



訪日外国人旅行者が2013年に初の1,000万人を突破

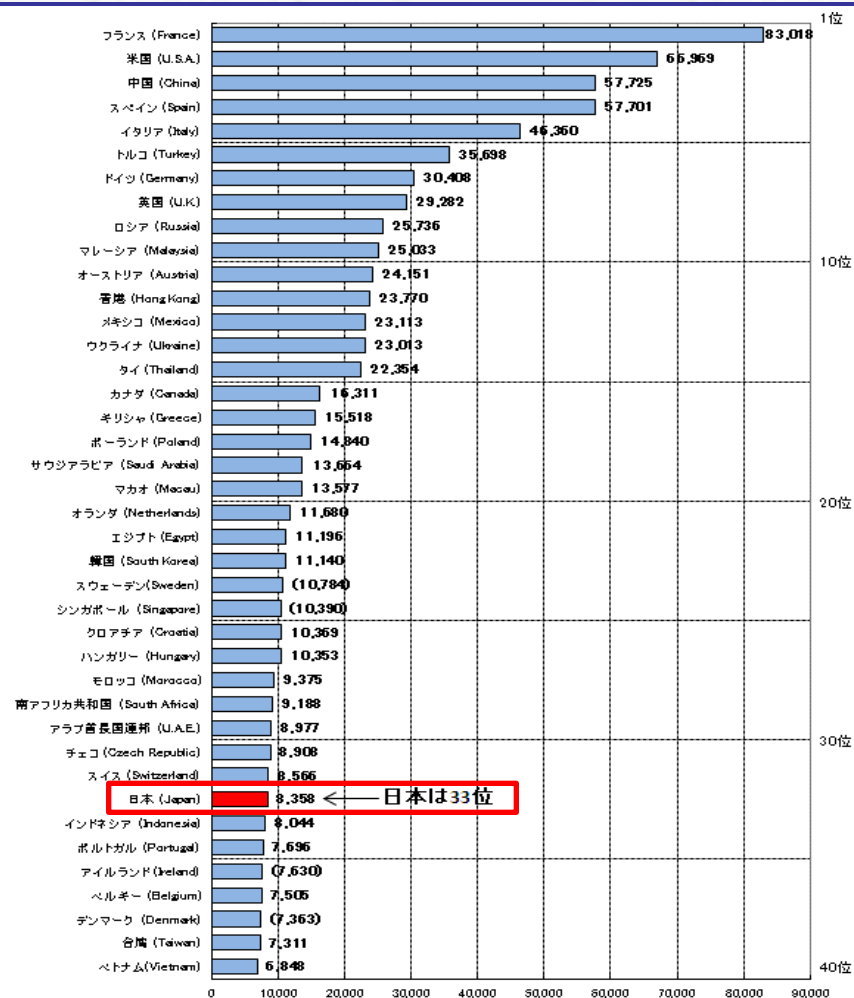


出典：日本政府観光局（JNTO）

2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況 入国者数順位 (2012年)



日本の入国者数は33位であり、1位フランスの10分の1。



2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況

世界における「KYOTO」ブランドの評価



Travel + Leisure ワールドベストシティ

2012年

順位	都市名	得点
1	バンコク(タイ)	89.87
2	フィレンツェ(イタリア)	89.14
3	イスタンブール(トルコ)	89.11
4	ケープタウン(南アフリカ)	88.64
5	シドニー(オーストラリア)	88.52
6	ローマ(イタリア)	88.49
7	ニューヨーク(アメリカ)	88.12
8	香港(中国)	88.03
9	京都	87.90
10	パリ(フランス)	87.67

2013年

順位	都市名	得点
1	バンコク(タイ)	90.40
2	イスタンブール(トルコ)	89.96
3	フィレンツェ(イタリア)	89.84
4	ケープタウン(南アフリカ)	89.57
5	京都	89.31
6	ローマ(イタリア)	89.09
7	チャールストン(アメリカ)	88.65
8	バルセロナ(スペイン)	88.45
9	パリ(フランス)	88.35
10	チェンマイ(タイ)	88.15

昨年、国内の都市で京都が初のランクイン！
今年は伸び率トップで5位に 世界トップに肉迫！！

■「Travel + Leisure」誌

100万部近い売上げを誇る月刊旅行雑誌で、アメリカンエクスプレスカードの会員を中心とした北米のリーダー層等が主な読者で、世界的にも強い影響力をもつと言われている。

「ワールドベストアワード」は同誌で1995年から始まった読者投票ランキングで、世界の観光都市やホテル、クルーズ、旅行会社、航空会社等のカテゴリに分かれる。

採点ポイントは、次の6項目。

①風景 ②文化/芸術 ③レストラン/食べ物 ④人 ⑤ショッピング ⑥価値

Condé Nast Traveler

アジア都市部門 (2013年)

順位	都市名	得点
1	京都	81.6
2	ホイアン(ベトナム)	79.9
3	ウブド(インドネシア)	79.6
4	ルアンプラバン(ラオス)	79.1
4	シンガポール(シンガポール)	79.1
6	チェンマイ(タイ)	78.8
7	香港(中国)	78
8	東京(日本)	77.7
9	バンコク(タイ)	77.4
10	シェムリアップ(カンボジア)	76.6

2013年は断トツの1位に！！

■「Condé Nast Traveler」誌

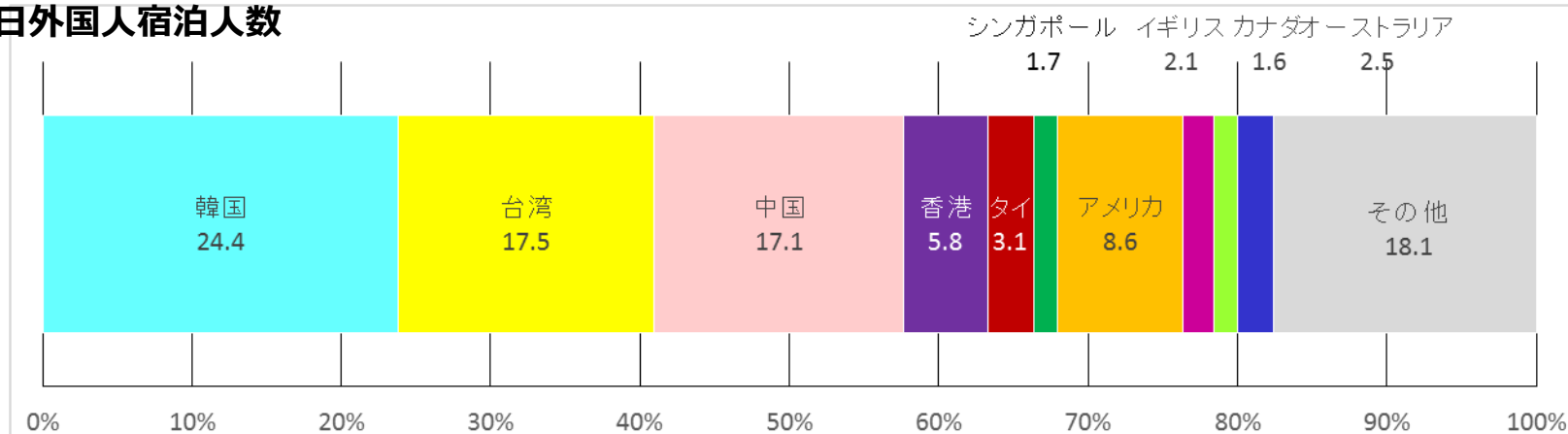
アメリカ大手出版社コンデ・ナスト社発行の旅行専門誌(月刊・約80万部)。富裕者層等を読者層に持ち、高品質の旅行、ホテル、レストラン、買物などに関する最新情報を掲載している。読者約8万人(2013年)の投票により、毎年、世界の人気観光都市、ホテル、航空会社等のランキングを実施している。都市の評価基準は、次の6項目。文化 親しさ 雰囲気 レストラン 宿泊 買い物

2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況 宿泊外国人観光客の内訳



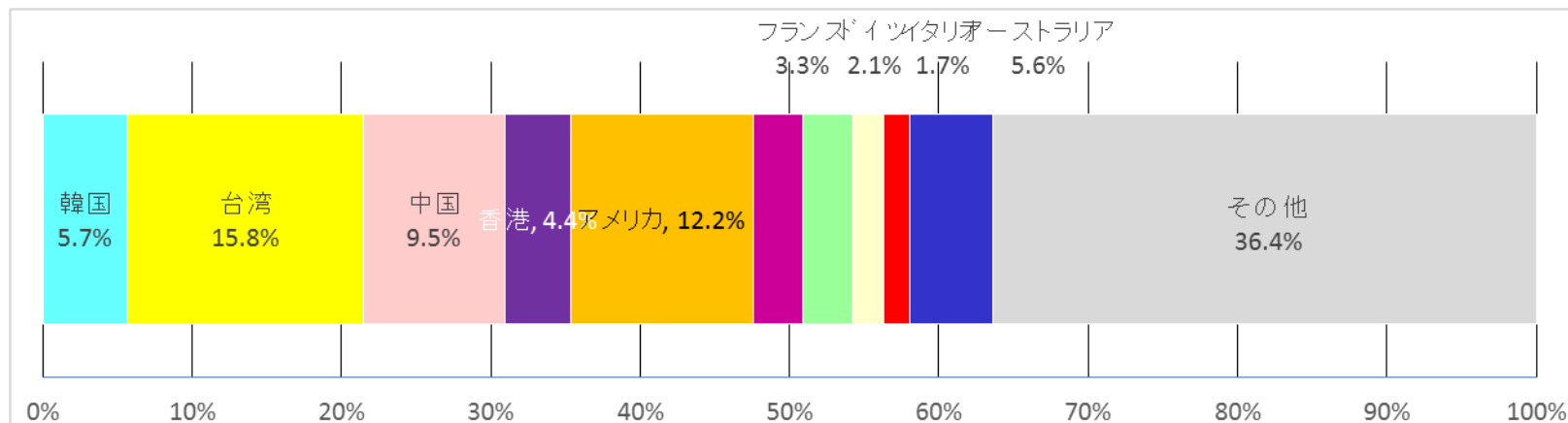
アジア7割，欧米2割の国に対し，京都ではアジア4割，欧米4割。

訪日外国人宿泊人数



京都市宿泊外国人客数

〔資料〕日本政府観光局（JNTO）統計調査 平成24年



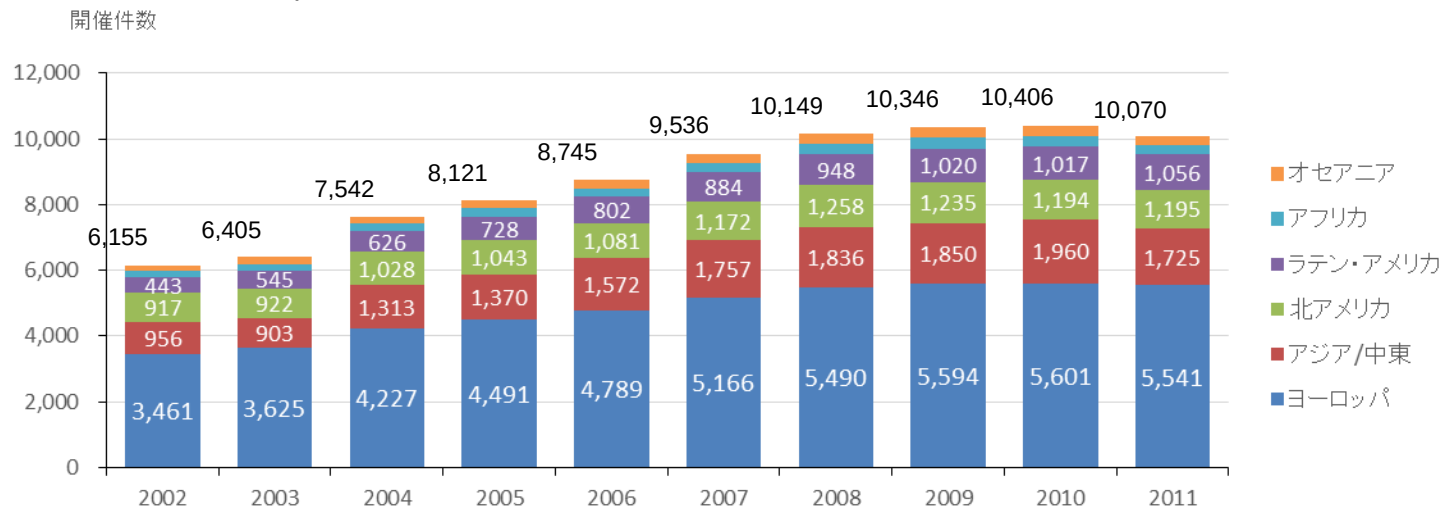
出典：京都観光総合調査（2012）

2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況 MICEの概況



世界全体の国際会議開催件数は年々増加しているが、日本のシェアは低下。

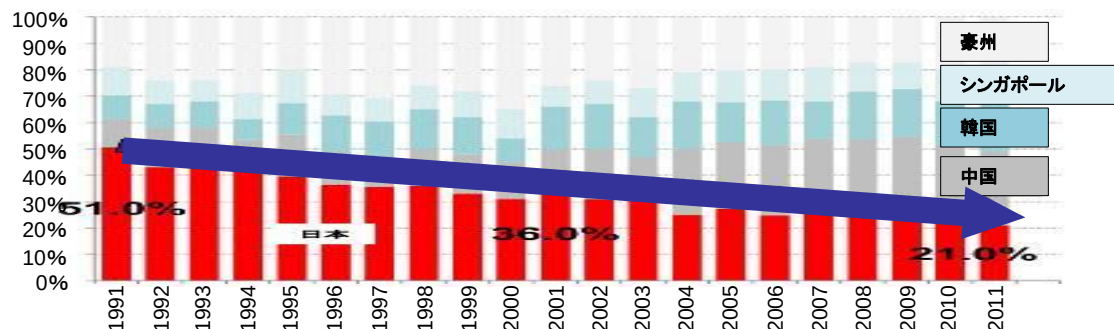
世界全体の国際会議開催件数



出典：ICCA「statistics Report2002-2011」より作成

※ICCAデータベースはICCA会員の申請・登録によって作成されているため直近年の数値は今後も増加する可能性がある。

アジア・太平洋地域の主要国の国際会議開催件数に対する日本のシェア推移（1991～2012）

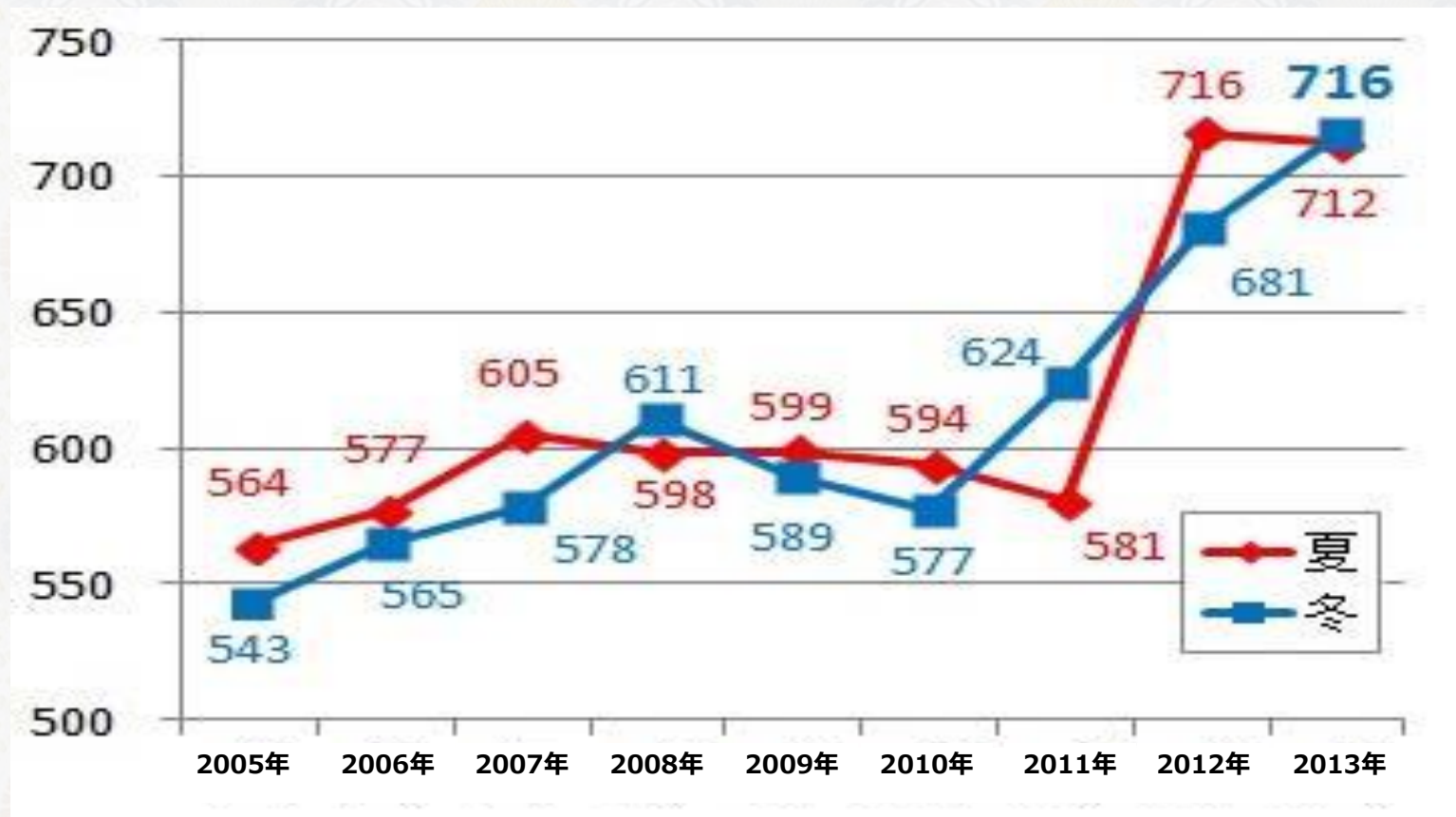


2-2 世界の観光動向と京都市のインバウンド概況 LCC国際便の関空発着数



本邦LCC就航以前（2011年）と比べると，発着数は20%増。

LCC国際便 関西国際空港 週間便数推移
(単位：便/週)



3 今後の方向性について

東京オリンピック・パラリンピック等を見据えて

3 今後の方向性について

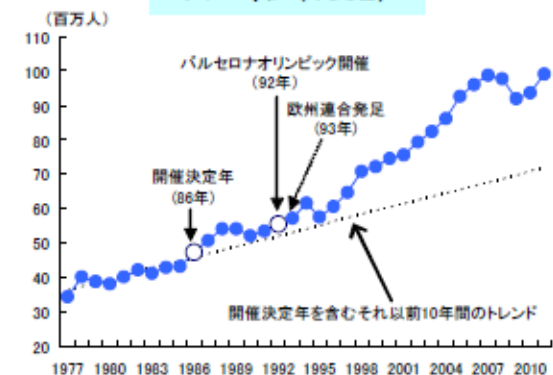
過去開催国のオリンピック前後のインバウンド観光客数



過去のオリンピック開催国では、オリンピック開催決定後から終了後も海外からの旅行者が長期的に増加する傾向にある。

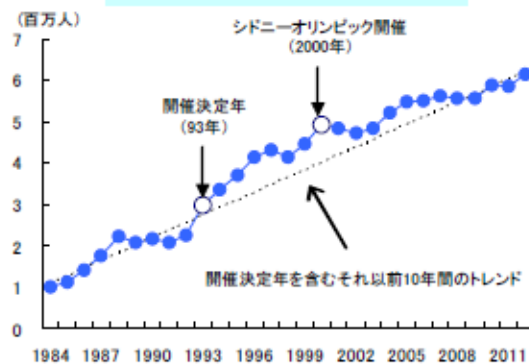
【 オリンピック前後のインバウンド観光客数 】

スペイン(1992)



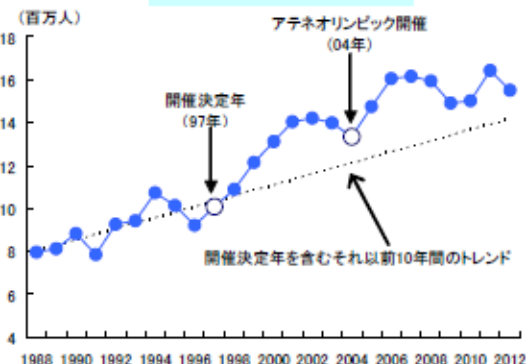
(注)スペインを訪問した外国人数(日帰り客を含む)。 (年)
(資料) Venancio Bote Gómez (1994), Instituto de Estudios Turísticos等

オーストラリア(2000)



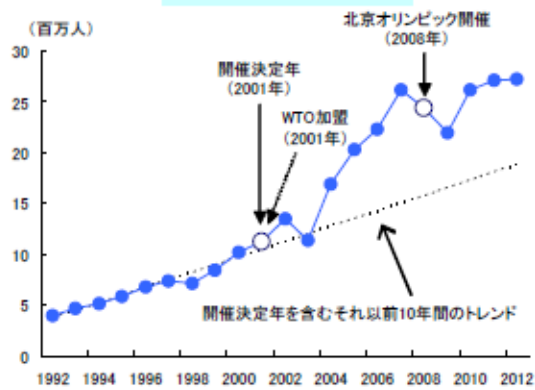
(注)1年以内の滞在を目的とした外国入到着数。 (年)
(資料) Australian Bureau of Statistics

ギリシャ(2004)



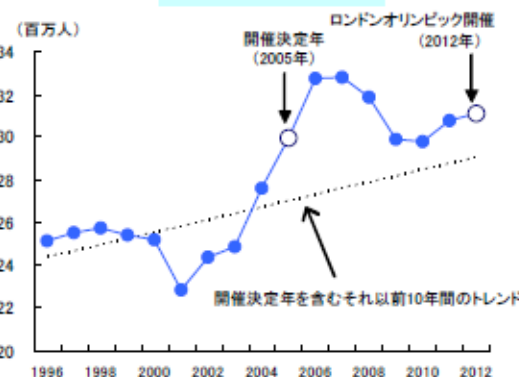
(注)ギリシャを訪問した外国入到着数。 (年)
(資料) Greek National Tourism Organization, National Statistical Service of Greece, World Bank

中国(2008)



(注)中国への外国入到着数(香港、マカオ、台湾人を除く)。 (年)
(資料) 国家旅游局

英国(2012)



(注)英国を訪問した外国人の総数(日帰り客を含む)。 (年)
(資料) Office for National Statistics



〈2020年前後の主な国際的スポーツ・イベント〉

2019年 ラグビー・ワールドカップ

2020年 東京オリンピック・パラリンピック

2021年 関西ワールドマスタースゲームズ

〈効果〉

直接効果 : イベントの実施に伴う効果

間接効果 : 開催国としてのイメージアップがもたらす観光需要の高まり等



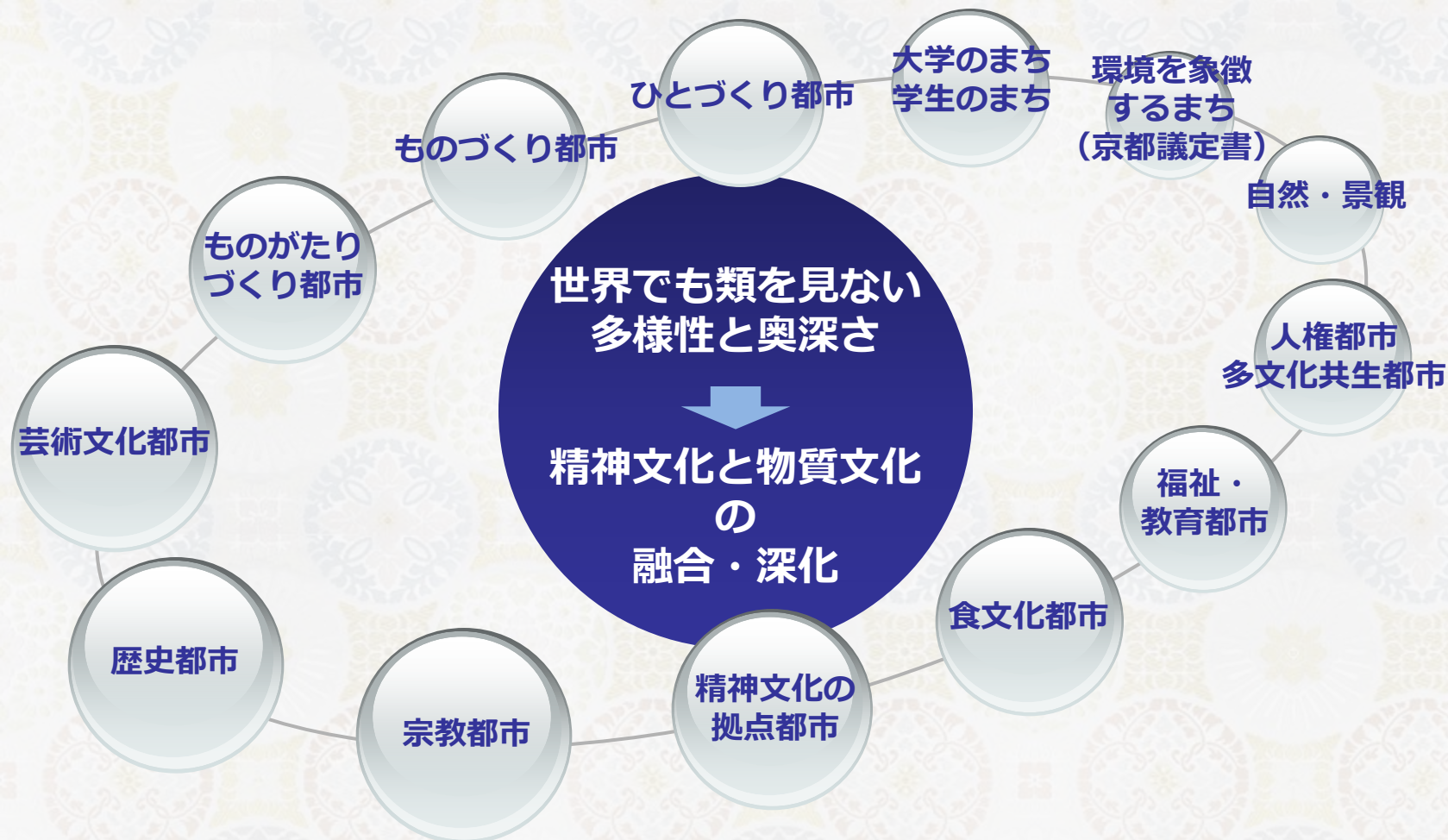
**京都として、直接・間接効果を取込み
更には
将来に向けどのようなレガシー（遺産）を
想定・構築していくのか。**

3 今後の方向性について

世界に誇る京都の特性 ～「日本に京都があってよかった」～



京都は、優れた文化の集積、都市としての多面性、質の高い「おもてなし」などにより、世界のトップクラスの観光都市となる潜在力を有している。日本文化の拠点であり、我が国を代表する国際観光都市として、観光立国の牽引役を果たすことが必要。

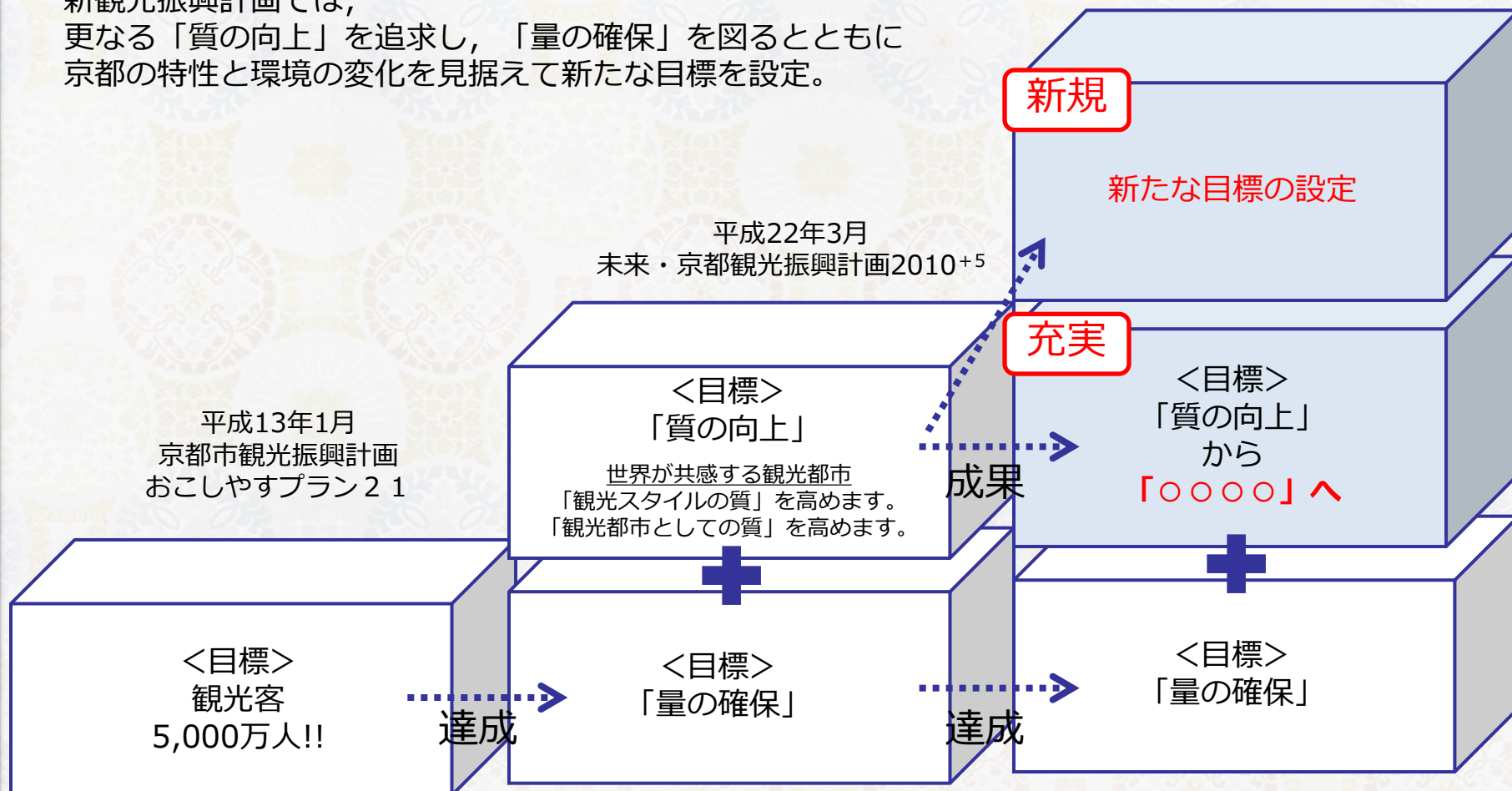


3 今後の方向性について



新観光振興計画では、
更なる「質の向上」を追求し、「量の確保」を図るとともに
京都の特性と環境の変化を見据えて新たな目標を設定。

平成26年
新観光振興計画





1. スケジュールについて

- | | |
|-----------|------------------------------------|
| 3月14日（本日） | 第1回観光振興審議会（現計画の統括及び観光を取り巻く現状等について） |
| 7月当初 | 第2回観光振興審議会（計画案等について） |
| 8月当初 | 第3回観光振興審議会（パブリックコメント案等について） |
| ～ | パブリックコメントの実施 |
| 9月中 | 第4回観光振興審議会（最終計画の確認等について） |

2. 計画案の作成について

審議会委員の中から起草委員を選定し，第2回審議会までに集中的に議論を実施し，計画案を作成。

3. 調査について

今後の審議会の議論のため，①国内調査，②インバウンド調査，③MICE調査を実施予定。